



2022年

**土岐市 泉北部レクリエーションゾーン
まちの未来ワークショップ 実施報告書**

2022.12.02 株式会社フューチャーセッションズ

目次

02 ー ワークショップ概要

03 ー ワークショップ設計

04 ー ワークショップ実施内容

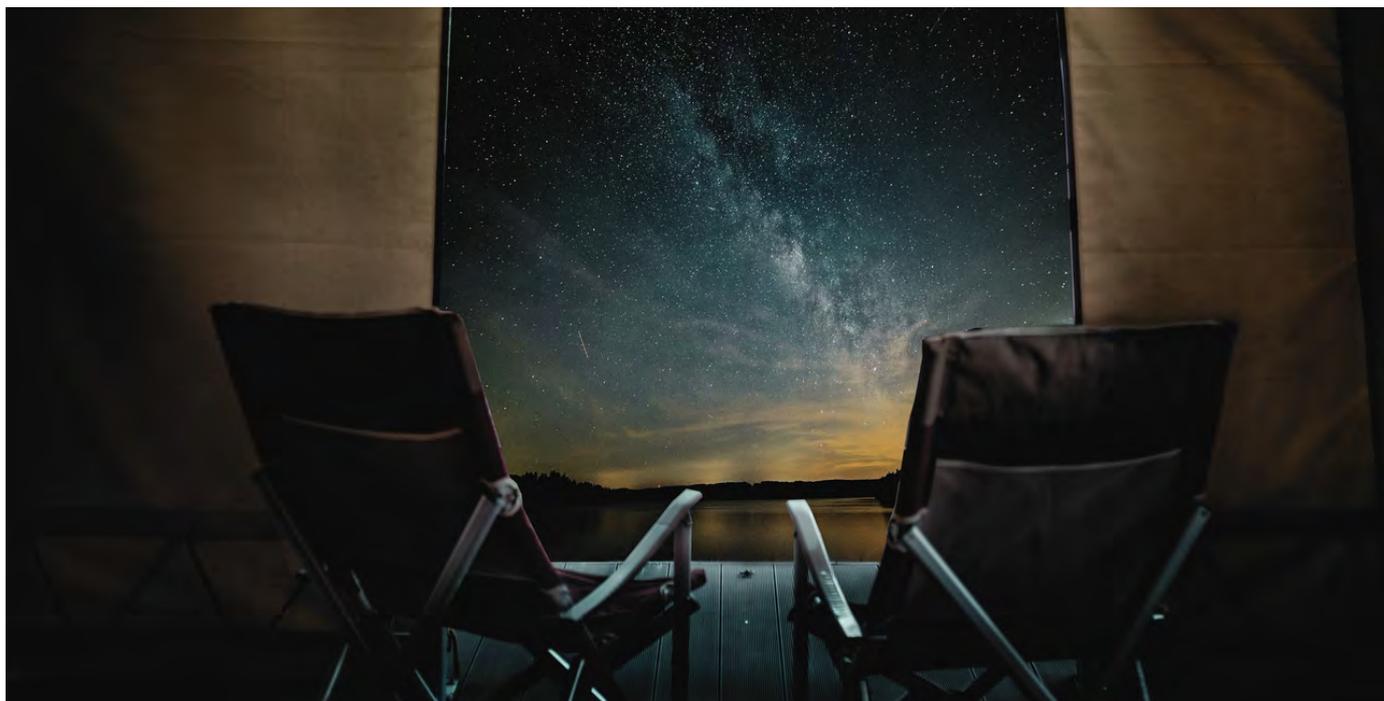
19 ー ワークショップ投影資料

20 ー 各グループ資料

32 ー 総括



ワークショップ概要



タイトル：

- 泉北部レクリエーションゾーン まちの未来ワークショップ

開催背景 ～泉北部レクリエーションゾーン活用事業とは？～：

- 「泉北部レクリエーションゾーンにおいて、自然資源の魅力的な有効活用、新たな交流人口の発掘、美濃焼産業との連携による地域産業の活性化と創造、ワーケーションなど新たなライフスタイルへの対応を実現するため」に、事業を行っています。
- 引用元：<https://www.city.toki.lg.jp/docs/18678.html>

開催目的 ～なぜ開催するのか？～：

- 泉北部レクリエーションゾーンを活用した先に広がる土岐市の未来に関する対話を行い、今後のありたい姿へ向けた施策検討へ活かしたい

日時：

- 2022.11.27 (sat) 14:00-17:00

場所：

- 土岐市役所 1 階 多目的ホール

対象者：

- 参加者 2 3 名 (土岐市民)

タイムスケジュール：

- 14:00～ イントロダクション
- 14:20～ 10年後の出来事を想像する
- 15:15～ アイデアを創出するチームをつくる
- 15:30～ 休憩
- 15:40～ 未来へ向けたアイデアを創出する
- 16:20～ プレゼンテーション
- 16:40～ アイデア実現へ向けた一人称アクションを考える
- 16:50～ クロージング
- 17:00 閉会

ワークショップ設計

1.イントロダクション

- イントロダクション
 - 主催者挨拶
 - ファシリテーター挨拶
 - 本日の目的・ゴール・進め方の共有
 - グランドルールの共有
- 自己紹介（グループ対話）
 - お名前
 - 普段どんなことをしているか
 - 私の好きなレクリエーションは？
 - 土岐での「ハッピーな思い出」 or 土岐での「クスッと笑える思い出」

2.10年後の出来事を想像する

- 泉北部レクリエーションゾーンの概要共有
 - 泉北部レクリエーションゾーンの概要
 - これまでのアイデア例
- 土岐市で起こりうる10年後のレクリエーション（グループ対話）
 - 「（10年前から現在）土岐市および社会のレクリエーションには、どんな変化があっただろうか？」を付せんに書き出します。
 - 「（現在から10年後）泉北部レクリエーションゾーンができて、どんなことが起きているだろうか？」を想像して付せんへ書き出します
 - グループ内で、「付せんに書かれた内容で象徴的な出来事」と思われる内容3つ選ぶ
 - 各テーブルの象徴的な出来事を共有し合う

3.グループをつくる

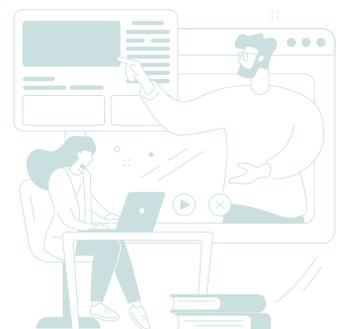
- アイデアを創出するグループをつくる
 - 一人ひとりが、以下に沿った『考えたテーマ』を記載して、主体的にグループチームをつくる
 - 泉北部レクリエーションゾーンで起こしたいこと、やりたいこと
 - 泉北部レクリエーションゾーンによって起きる可能性のある問題を解決すること

4.未来へ向けたアイデアを創出する

- テーマ実現へ向けたアイデアを創出する
 - 以下の枠組みに沿って、レクリエーションゾーンを地域活性に活かすテーマを【実現するためのアイデア】を創出します。
 - <アイデアで描く内容>
 - グループアイデアによって、10年後の土岐市にどんな出来事が生まれたか、のニュース記事を描く
 - <ニュース記事の枠組み>
 - 一言で言うとどんなニュースか？
 - グループアイデアによって、どんな泉北部レクリエーションゾーンができた？
 - グループアイデアが活かされた泉北部レクリエーションゾーンによって、どんな土岐市になったのか？
- プレゼンテーション
 - 各グループのアイデアを共有して頂きます。
 - 1グループ2分をお願いします！

5.クロージング

- a.未来の土岐へ向けた一人称アクションを考える
 - i.泉北部レクリエーションゾーンが活かされた地域活性の未来がイメージできたところで、最後に個人ワークで「一人称アクション」を考えて終了します。
 - ii.個人ワーク：
 - 1.泉北部レクリエーションゾーンを活かすアイデアを実現するために、「私ができる行動」「私がやりたい行動」をA4シートへ書き出してください
- b.クロージング
 - i.以下を行って、クロージングします。
 - 1.主催者挨拶
 - 2.集合写真撮影



ワークショップ実施内容 ～1.イントロダクション～

イントロダクション

主催者挨拶（地域資源活用推進室長 山岡）



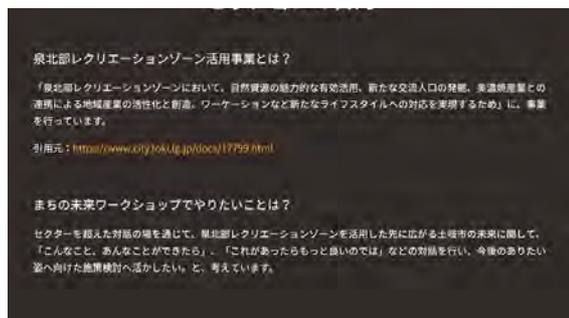
地域資源活用推進室は、産業振興課内にできた部門です。土岐市の地域活性化の課題として、美濃焼のPRやブランド力の向上。観光振興。交流人口や関係人口の増加などの問題があります。これらの諸問題に対して、観光、自然、歴史、文化などを「地域資源」として捉えて、磨くことが大切だと考えてます。今日は、土岐市の泉北部レクリエーションゾーンの未来について、皆さんの対話からどんなアイデアが生まれるかにワクワクしています。

ファシリテーター挨拶（株式会社フューチャーセッションズ 最上）

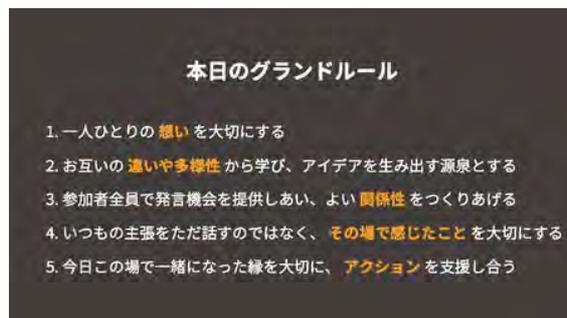


今日は、泉北部レクリエーションゾーンを含めたまちの未来を考えるワークショップです。一言で「未来を考える」と言っても、1人でまちの未来を考えることは難しいものです。今日は、一人ひとり色々な知見や想いを持った方が参加していますので、その知見や想いを活かして「こんなことができると良いな」という未来を楽しく一緒に考えて行きましょう！

本日の目的・ゴール・進め方の共有



グラドルールの共有



自己紹介

以下の項目について、グループ毎に自己紹介を行いました。

- お名前
- 普段どんなことをしているか
- 私の好きなレクリエーションは？
- 土岐での「ハッピーな思い出」 or 土岐での「クスッと笑える思い出」



ワークショップ実施内容 ～2.10年後の出来事を想像する～

泉北部レクリエーションゾーンの概要共有

泉北部レクリエーションゾーンの概要：地域資源活用推進室（水野）



土岐市の北部、泉町の最も北側に、泉北部レクリエーションゾーンがあります。野球場、陸上競技場、サッカー場がある土岐市総合活動センターの北側です。現在の取り組み状況は、ステークホルダーとのヒアリングを経て、市民の皆さんのアイデアを集めるワークショップの実施の段階です。今日、皆さんから頂いた意見も大切にしながら、基本計画を固めていきたいと考えています。



②当該地の利用の経緯

	当初	修管(県→市)	現在
利用開始	1975年	2010年4月	2013年4月
用途	少年自然の家 研修棟 体育館 キャンプ場など	キャンプ場	普通財産(山林)
管理者	岐阜県	土岐市	土岐市
廃止	2010年3月	2013年3月	-



④オープンまでのスケジュール (予定)

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
基本計画策定	基本設計 実施設計	工事	オープン

- ⑤現在の取組状況と直近の予定
- (1) 基本計画策定業務プロポーザルの実施
 - (2) 関係課との調整会議
 - (3) ステークホルダーへのヒアリング
 - (4) まちの未来ワークショップの実施
 - (5) モニタリングキャンプの実施

- ⑥これまでのヒアリングで出た主な意見
- ・子供の研修施設(林間学校)
 - ・美濃焼の野焼き体験
 - ・織部ヒルズなどへの送客
 - ・陶育(美濃焼を使った教育)の場
 - ・複数回訪れてもらったの作陶体験
 - ・キノコ狩り体験
 - ・ゾーン内でのフェスやイベントなど
 - ・美濃焼とスノーピークのコラボ商品
 - ・畑を併設して農業体験
 - ・ワーケーション、リモートワーク
 - ・サウナ設置
 - ・フィールドアスレチック
 - ・各団体の会議の場



ワークショップの実施内容 ～2.10年後の出来事を想像する～

土岐市で起こりうる10年後のレクリエーション（グループ対話）

Aグループ

※太字下線は、チームが選択した象徴的な未来の出来事

- （10年前から現在）土岐市および社会のレクリエーションには、どんな変化があっただろうか？
 - アウトレットができた
 - 大型施設ができた
 - イオンができた
 - アクションカメラでのPRが増えた
 - 大規模イベントに行きづらくなった
 - 在宅型(コロナ)になった
 - キャンプが流行
 - アウトドア再ブーム
 - おじさんのバイクブーム
 - 個人での参加が楽しみ
 - 1人で参加する人増加

- （現在から10年後）泉北部レクリエーションゾーンができて、どんなことが起きているだろうか？
 - 人口増加
 - 市外からの人が増える(逆もアリ)
 - 若者が遊びにくる
 - 人気スポットになっている
 - 土岐市住みたいランキング上位
 - 遊べる場所が増える
 - 親子で遊べる場所
 - 家で過ごす時間が増えた
 - 子供のころの思い出動物
 - 外で仕事ができるようになる
 - 美濃焼の衰退
 - 個室(?)キャンプ
 - 持ち物ナシでキャンプ

- 発表内容
 - レクリエーションゾーンができることによって、持ち物ナシで参加できるキャンプ場が想像できると思います。その施設では、外で仕事ができると考えました。その際、wi-fi などの環境が整った施設ができると想像をしています。
 - キャンプ場に、手ぶらで行くことができ、カフェやコワーキングスペースのような利用ができると、キャンプユーザーだけでなく、一般利用者の来街者も増えることで、土岐市に関わる人が増えていくレクリエーション施設を想像しました。



ワークショップの実施内容 ～2.10年後の出来事を想像する～

土岐市で起こりうる10年後のレクリエーション（グループ対話）

Bグループ

※太字下線は、チームが選択した象徴的な未来の出来事

- （10年前から現在）土岐市および社会のレクリエーションには、どんな変化があったらうか？
 - 走り回れる場所が減った
 - 車移動が増えた
 - 20年前にできたことを今やりたい
 - 昼間に家に居る人が増えた
 - 情報収集がしやすくなった
 - 動画が増えた / 発信者が増えた
 - 税金上がった
 - 子供の遊び場がない
 - 子供会の活動ができない
 - 子供の声がうるさいとの苦情がふえた
 - キャンプ人口増加！！
 - イオンができた
 - 好き勝手したい
 - 体を使って遊べない遊ばない
 - おうちごはん
 - 宴会がなくなった
 - コロナの圧力増加
 - アウトドア用品高い
 - アウトドア ラグジュアリー
 - 山が荒れてはいれない
 - きのこが減っている
 - 山の整備がされていない
 - SNSとの連携
 - 室外で遊ぶことが減った

- （現在から10年後）泉北部レクリエーションゾーンができて、どんなことが起きているだろうか？
 - 田舎のよさ / 希少種の保護
 - 自然を残したい
 - ハナノキ探検ツアー
 - ネイチャーゲーム・ネイチャービンゴ
 - 遊具はなくてもいい
 - 遊びやレクのバリエーションが増える
 - 海外のスポーツ
 - 税にたよった施設はなくなる
 - お金を落として運営してほしい
 - 市外県外から土岐市へGO！
 - キャンプファイアー
 - 花火
 - 野焼き
 - キャンプファイヤーやれるところがない
 - 海外に移住する
 - 学校の1学年ぐらいいを受け入れる
 - ジュニアリーダーの活動復活！
 - 安心して遊ばせられる(シンプル)
 - 好き勝手できる
 - 子供たちの学び(遊び)場
 - 子供の活動の場 学び・遊び
 - 子供たちのクラブ活動 / 合宿
 - 絶対に楽しい
 - 地元の人が集まる
 - 老人の合宿
 - ラグジュアリーではない
 - 近くの施設とキャンプ場の連携
 - 地元の人気軽集まれる場所にしたい
 - 大人合宿 / フェスイベント
 - モーニング
 - 火を囲んで飲み会
 - 集まってキャンプしたい

- 発表内容
 - 1つ目が、自然を残したいというアイデアです。ネイチャーゲームやネイチャービンゴなど、自然を活かしたもので自然を残すレクリエーションゾーンにしたいと思いました。
 - 2つ目は、子どもの活動の学び場や遊び場として利用することです。子どものクラブ活動や子どもだけの合宿で使い、それによりジュニアリーダーの復活も考えられると思います。
 - 最後に、地元の人気軽集まれる場所にしたいです。大人が集まってキャンプするような場所にできるといいと考えました。

ワークショップの実施内容 ～2.10年後の出来事を想像する～

土岐市で起こりうる10年後のレクリエーション（グループ対話）

Cグループ

※太字下線は、チームが選択した象徴的な未来の出来事

- （10年前から現在）土岐市および社会のレクリエーションには、どんな変化があっただろうか？
 - アウトドアブーム
 - モノ→体験価値観の変化
 - 高齢化
 - コロナで外出しなくなった
 - 活動的な若い人が見られなくなった
 - プールがない(なくなった)
 - お金をかけないレク(スキーとかは少数)

- （現在から10年後）泉北部レクリエーションゾーンができて、どんなことが起きているだろうか？
 - 誰も来なくなる
 - 自然環境を活かしたレクリエーションゾーンを
 - ペットにも優しい新しい拠点(施設)
 - 湿地等保護されるべき自然が壊される
 - 室内の部屋と外と行き来できる
 - 森のようちえん 幼児の教育を通じて移住に…
 - 多目的な大屋根
 - 天候に関係なく遊べる場所
 - 市民のまちづくり団体が活動できる

- 発表内容
 - 1つ目が森のようちえん。幼児の教育を通じて移住につながれると良いと思います。
 - 2つ目がペットにも優しい新しい施設ができることです。
 - それともう1点が自然環境です。施設の場所には環境省が指定した重要湿地があります。世界でもここしかないものがたくさんあります。それを皆さんに見ていただきたい。他のレクリエーションゾーンにはない新たな価値ですので、地域の自然環境を活かしたレクリエーションゾーンも作りたい。と、この3つを選びました。



ワークショップの実施内容 ～2.10年後の出来事を想像する～

土岐市で起こりうる10年後のレクリエーション（グループ対話）

Dグループ

※太字下線は、チームが選択した象徴的な未来の出来事

- （10年前から現在）土岐市および社会のレクリエーションには、どんな変化があっただろうか？
 - キャンプファイヤー
 - 川遊び / 木登り
 - そもそもなかった
 - 動画にシフト

- （現在から10年後）泉北部レクリエーションゾーンができて、どんなことが起きているだろうか？
 - 新駅前商店街！ ◦ デカイ公園(カフェ付き)
 - 美濃焼アートの街 ◦ スケートパーク
 - ストレス発散 美濃焼皿投げ(リサイクル) ◦ 人が増える
 - 地元の遊び場が衰退
 - (ステキな)散歩道
 - 道路の混雑

- 発表内容
 - レクリエーションゾーンができると、人が色々なところから集まることが想像できるので、少し寂しくなっている駅前の商店街を生まれ変わった商店街にしたいという考えが1つです。
 - 2つ目は、土岐市の美濃焼を生かした、美濃焼皿投げという新しいレクリエーションができると思います。例えば、欠けたものや釉薬を失敗した美濃焼などを使って再利用するイメージしています。それらについては、美濃焼を投げて割ることでストレスを発散するレクリエーションのアイデアも出ました。
 - 3つ目は、美濃焼アートの街です。市内に美濃焼のオブジェがありますが、土岐市の新しい魅力としてアートを押し出したレクリエーションはどうか、というアイデアが出ました。



ワークショップの実施内容 ～2.10年後の出来事を想像する～

土岐市で起こりうる10年後のレクリエーション（グループ対話）

Eグループ

※太字下線は、チームが選択した象徴的な未来の出来事

- （10年前から現在）土岐市および社会のレクリエーションには、どんな変化があっただろうか？
 - 外遊びが少なくなった
 - 子供が少なくなった
 - 変化していない
 - モバイル端末普及(スマホ、iPadなど…)
 - 情報の多様化
 - イベント中止
 - ナゾ土岐文化
 - 商業施設の増加
 - 駅前の商店街の衰退

- （現在から10年後）泉北部レクリエーションゾーンができて、どんなことが起きているだろうか？
 - 地価高騰
 - 美濃焼人気爆発
 - 自然フェス
 - 市外県外からの移住が増えた
 - キャンプ所の集客が全国No.1!
 - タピオカ屋などのオシャレ店
 - 映画館
 - アウトレット・イオンモール・スノーピーク三大集客力!!
 - テーマパークなど新たな娯楽施設

- 発表内容
 - スノーピークのキャンプ場ができて、10年後はキャンプ場の集客が県内ナンバー1だけではなく、全国ナンバー1になると思います。
 - そして、新しい関係人口が増えることで、新しい娯楽施設としてテーマパークなどができるのかなと思いました。
 - 長久手市には、ジブリパーク。土岐市には、アウトレットとイオンモール。そして、スノーピークができると、新しい娯楽施設の期待が広がります。そこから、自然を生かしたフェスも開催されて、全国的にも10年には土岐市が知れ渡っていると想像しました。



ワークショップ実施内容 ～3.グループをつくる～

アイデアを創出するグループをつくる

一人ひとりが、以下に沿った『考えたいテーマ』を記載して、主体的にグループをつくる

- 泉北部レクリエーションゾーンで起こしたいこと、やりたいこと
- 泉北部レクリエーションゾーンによって起きる可能性のある問題を解決すること

A

- 「聖地」にする 例え「恋人の聖地」「ロケ地聖地巡礼」
- 思い出づくり
- 子ども野生計画 子供をターゲットにしたキャンプ場
- キャンプはもちろん！！子供の学べる場・遊べる場をつくりたい！！

B

- GW交通マヒの解消
- 道路渋滞の緩和
- 移住定住
- 新しい働き方ができるように。時間や場所にとらわれない

C

- キャンプファイヤーフェスイベント
- 毎月10日(トキ)に行われるマルシェ
- キャンプ場を利用した来客イベント開催！

D

- 美濃焼の魅力を伝えたい！食器として…作陶体験の思い出づくり…地域の窯元さん…ショップへ呼ぶ！世界に開かれた土岐市
- 泉北部レクリエーションゾーン集客、イベント企画、運営
- アスレチック×美濃焼 / 市民以外も訪れるイベントを立ち上げる

E

- 土岐の自然を生かした活動(ネイチャーゲームを有名に！)
- 自然を通じて人がつながる
- 自然環境を活かしたレクリエーションゾーンを
- 湿地の保護 / 森・湿地の整備 / 貴重種の保護・観察会

F

- 自然を残したい 人が集まっても共存(人・自然)できる体制
- 自然の草木エリアと観賞用エリア入れてまったりスペース
- 自然の草木の学習 / 土岐の自然の結合をつくる
- 人・自然・動物の共存

ワークショップ実施内容 ～4.未来へ向けたアイデアを創出する～

テーマ実現へ向けたアイデアを創出する

以下に沿って、テーマを『実現するためのアイデア』を創出します。

- 一言で言うとどんなニュースか？
- グループアイデアによって、どんな泉北部レクリエーションゾーンができた？
- グループアイデアが活かされた泉北部レクリエーションゾーンによって、どんな土岐市になったのか？

A

一言で言うとどんなニュースか？

- 土岐市初！総理大臣誕生！！！！

グループアイデアによって、どんな泉北部レクリエーションゾーンができた？

- アウトドア部
- シンボル
- 生きていく力
- 自立
- アスレチック遊び

グループアイデアが活かされた泉北部レクリエーションゾーンによって、どんな土岐市になったのか？

- リーダシップが強い
- 経営者たくさん
- お店が増える
- 子供の聖地
- テント泊

プレゼンテーション

ニュースのタイトルは、「土岐市初！総理大臣誕生！！！！」です。

レクリエーションゾーンには、アウトドア部を発足されており、子どもの成長が促進されています。アウトドア部は、子どもを対象にした自然を通した生きる力や自立心を育てる活動です。自然を活かした遊びやアスレチック遊び、自炊体験などを行い、子どもの聖地となっています。

それによって、生きる力や自立心を持った子どもたちが育ち、土岐市にリーダーシップを発揮する人が増えました。そして、経営者がたくさん生まれたり、お店の出店が増えたりと、、、もっともっと、土岐市が活性化して、土岐市から総理大臣が誕生したという未来を考えました。

ワークショップ実施内容 ～4.未来へ向けたアイデアを創出する～

テーマ実現へ向けたアイデアを創出する

以下に沿って、テーマを『実現するためのアイデア』を創出します。

- 一言で言うとどんなニュースか？
- グループアイデアによって、どんな泉北部レクリエーションゾーンができた？
- グループアイデアが活かされた泉北部レクリエーションゾーンによって、どんな土岐市になったのか？

B

一言で言うとどんなニュースか？

- 5年連続住みやすい町No.1 !!!

グループアイデアによって、どんな泉北部レクリエーションゾーンができた？

- 新道路が開設される！！
- 上りが2車線になる
- 駐車場問題がなくなる
- ICを上にもっていく
- 散歩に行ける
- プレミアム感がある
- 車が少なく済む
- ワークーション(平日使い)
- ペット需要に応える
- 団地の人がご飯を食べられる
- 雨キャンプができる

グループアイデアが活かされた泉北部レクリエーションゾーンによって、どんな土岐市になったのか？

- 渋滞の解消
- 移住者定住者増加
- 自慢できる場所増加
- 新しい雇用

プレゼンテーション

私たちは、移住定住や働き方・道路の渋滞緩和という対極的なテーマを1つに繋いでまとめました。ニュースのタイトルは、「5年連続住みやすい街No.1 !!!」です。

レクリエーションゾーンでは、wi-fi整備によってワークーションが起きています。また、日中散歩の方やワンちゃんとの散歩が起きています。

それによって、休日や祝日のキャンプ利用だけでなく、平日の来街者が増えています。また、交通渋滞の解消の対策が行われた土岐市になっています。そして、遊べるまちであり、イベントや催事でも気持ちの良い移動ができる土岐市は、東美濃のエリアでも最も住みやすい街となり、移住定住者も増加している土岐市になっているという未来を描きました。

泉北部レクリエーションゾーンは、今後の土岐市を新しく変える、新しい資産になり、みんなが楽しめる場所になると思います。

ワークショップ実施内容 ～4.未来へ向けたアイデアを創出する～

テーマ実現へ向けたアイデアを創出する

以下に沿って、テーマを『実現するためのアイデア』を創出します。

- 一言で言うとどんなニュースか？
- チームアイデアによって、どんな泉北部レクリエーションゾーンができた？
- チームアイデアが活かされた泉北部レクリエーションゾーンによって、どんな土岐市になったのか？

C

一言で言うとどんなニュースか？

- 土岐！衣食住以外に… ～遊イベントも（マルシェ×エクササイズ×キャンプファイアー）～

グループアイデアによって、どんな泉北部レクリエーションゾーンができた？

マルシェ

- コーヒー豆
- フルーツ
- 作家のうつわ♪

エクササイズ

- ヨガ
- 体操
- アスレチック
- セラピー

キャンプファイアー

- 野外学習
- フェス
- 星
- やきいも

グループアイデアが活かされた泉北部レクリエーションゾーンによって、どんな土岐市になったのか？

- 今までなかったイベントのつながりにより土岐市の来客増加につながった

プレゼンテーション

ニュースのタイトルは、「あの土岐に衣食住以外にもイベントも」です。

レクリエーションゾーンでは、毎月10日に「朝マルシェ」が開催されています。朝マルシェでは、コーヒー豆やフルーツ、野菜だけでなく、洋服や陶芸など、テント出店が行われています。

また、朝マルシェと同時にエクササイズも開催されています。ヨガやラジオ体操、美や健康のセラピーなどもあります。更に、時々「夜マルシェ」が開催されます。夜マルシェは大人向けの小さな小祭りやキャンプファイアーが行われています。

それによって、市内外の人が、タテ・ヨコ・ナナメにつながり、「新たなつながりが新たなテント出店を生み出す」といった動きが土岐市に生まれ始め、更に来街者が増えているという未来を描きました。

ワークショップ実施内容 ～4.未来へ向けたアイデアを創出する～

テーマ実現へ向けたアイデアを創出する

以下に沿って、テーマを『実現するためのアイデア』を創出します。

- 一言で言うとどんなニュースか？
- グループアイデアによって、どんな泉北部レクリエーションゾーンができた？
- グループアイデアが活かされた泉北部レクリエーションゾーンによって、どんな土岐市になったのか？

D

一言で言うとどんなニュースか？

- スノーピークと世界的有名デザイナーが手掛ける世界最大級的美濃焼製イベント施設誕生！

グループアイデアによって、どんな泉北部レクリエーションゾーンができた？

- 美濃焼でできたワクワクドキドキ多目的な施設
- アスレチック・憩いの場を世界へ発信
- ボルダリング・サバイバルゲームの世界大会
- 市民の発表の場

グループアイデアが活かされた泉北部レクリエーションゾーンによって、どんな土岐市になったのか？

- 政界から注目され、関係・交流人口、移住する人が増加！？

プレゼンテーション

ニュースのタイトルは、「スノーピークと世界的デザイナーが手がける美濃焼き製のイベント施設」です。

レクリエーションゾーンには、美濃焼でできた多目的施設が生まれました。全天候型の屋根や柱が美濃焼でデザインされています。その施設では、チェーンソーアートなどアートのなものや、ボルダリング・サバイバルゲームなど、大人から子供までまでワクワク・ドキドキ楽しめるイベントや、憩いの場所になっています。

それによって、SNS・インターネット・新聞・その他メディアを通じて、世界中から注目され、関係・交流人口、さらに移住する人が増え、「私も土岐市に住みたいわ」、「こんなイベントがあるなら、私は一生住むわー！」という土岐市になりました。

ワークショップ実施内容 ～4.未来へ向けたアイデアを創出する～

テーマ実現へ向けたアイデアを創出する

以下に沿って、テーマを『実現するためのアイデア』を創出します。

- 一言で言うとどんなニュースか？
- グループアイデアによって、どんな泉北部レクリエーションゾーンができた？
- グループアイデアが活かされた泉北部レクリエーションゾーンによって、どんな土岐市になったのか？

E

一言で言うとどんなニュースか？

- ラムサール条約の指定湿地に登録！世界から注目！

グループアイデアによって、どんな泉北部レクリエーションゾーンができた？

- 公認ゆるキャラ(ヒメタイコウチ)が日本でブーム
- ネイチャーゲームで自然と一体に
- 土岐ゆるキャラが湿地の生物に！(姫タイコウチ)
- いやしの町
- ヒメタイコウチの食器で給食
- 生物の多様性
- SNSでネイチャービンゴ
- シデコブシの種から子供たちが木を育てる

グループアイデアが活かされた泉北部レクリエーションゾーンによって、どんな土岐市になったのか？

- 土岐市民全員が湿地を誇りに思う
- SDGsなまちに
- 若者がI・Uターン 郷土愛

プレゼンテーション

ニュースのタイトルは、「ラムサール条約の指定湿地に登録！世界から注目！」です。
自然保護や自然を通して人とつながることを考えました。

レクリエーションゾーンでは、ネイチャービンゴが行われています。これがSNSで発信され、土岐の自然を全国・世界に発信しています。また、土岐市の子どもが、シデコブシという植物の種を植えて、定期的に訪問して愛着を持って育ててもらいます。そして、ヒメタイコウチが土岐市のゆるキャラになり、ヒメタイコウチがデザインされた食器で給食が出されて、自然に親しんでもらいます。

それによって、土岐市民全員が湿地に誇りをもって、SDGsなまちになっています。そして若者が自然に親しむことで土岐市に若者が戻りはじめている未来を描きました、

ワークショップ実施内容 ～4.未来へ向けたアイデアを創出する～

テーマ実現へ向けたアイデアを創出する

以下に沿って、テーマを『実現するためのアイデア』を創出します。

- 一言で言うとどんなニュースか？
- グループアイデアによって、どんな泉北部レクリエーションゾーンができた？
- グループアイデアが活かされた泉北部レクリエーションゾーンによって、どんな土岐市になったのか？

F

一言で言うとどんなニュースか？

- 手ぶらでさとやま体験 ～季節ごとのおたのしみ～

チームアイデアによって、どんな泉北部レクリエーションゾーンができた？

食	植物	四季
<ul style="list-style-type: none"> ● まつたけ、自然薯、五平餅 ● 鹿・いのしし 	<ul style="list-style-type: none"> ● シデコブシ ● なんじゃもんじゃ ● 観賞できる山ラッキョウ、せんぶり 	<ul style="list-style-type: none"> ● いのしし、トンビ、湖 ● 季節ごとに ● 遊び、自然を愛する心 ● 子供・老人会
生物		
<ul style="list-style-type: none"> ● 鳥、虫、馬、日本ミツバチ 		

チームアイデアが活かされた泉北部レクリエーションゾーンによって、どんな土岐市になったのか？

- 土岐市らしさをクローズアップ、「ザ・土岐市」の集約を作る

プレゼンテーション

ニュースのタイトルは、「手ぶらでさとやま体験 ～季節ごとのおたのしみ～」です。自然との共存というテーマで考えました。

レクリエーションゾーンでは、手ぶらで体験可能な里山体験サービスが実現されています。季節ごとに様々な楽しみがあり、食の楽しみ、生き物の楽しみ、植物の楽しみ、遊びの楽しみなどがあります。例えば、食だと、まつたけや自然薯、鹿やいのししです。自然を通じた遊びの体験を子どもたちが楽しんでいきます。

それによって、土岐市の自然を通じた体験や土岐市独特の価値が体験できている未来を描きました。

ワークショップの実施内容 ～5.クロージング～

未来の土岐へ向けた一人称アクションを考える

アイデア実現へ向けた「私がやりたい行動」「私ができるような行動」

Aグループ

- 親子でキャンプ体験
 - 子どもたちの考える未来を伝える
 - できるコト・できないコトを伝える
- 子どもたちの活動を支えるボランティア
- 子どもたち自身何を求めているか知る
- キャンプグルメを習得する(SNSで発信)
- 子どもたちとキャンプに出掛ける
- 子どもたちと外でいっぱい遊ぶ
- 子どもたちになんでもやらせる

Bグループ

- 施設の行方を見守り続ける
- 町を散歩する
- 今あるものを探す
- 織部ヒルズとの連携における橋渡し役
- ペット関連をサポートする
- 新しい働き方を自らす

Cグループ

- イベント前後の清掃(目指すはゴミゼロ)
- イベント開始までの準備
- 土岐市の人たちと積極的に関係を持つ
- まちづくり関連のイベントにも参加する
- 「発信」(インスタ、活動内容)

Dグループ

- ハッシュタグを考えてSNSで発信する
- SNSを通じて「#土岐市」「#TOKI」を発信していく。子どもに土岐の良さを刷り込む
- 学生の間にはいろいろなイベントを経験する
- 地域のイベント、レクリエーションゾーンを活かしたイベントに参加する 口コミもする！
- 泉北部レクリエーションゾーン集客、イベント企画、運営やりたいやる

Eグループ

- 身の回りの植物について、自分が調べてみる
- ネイチャーゲームをやってみる
- 遊ぶことで自然や人とつながる
- 北部レクリエーションゾーン周辺の湿地保護
- 土岐の貴重種・ハナノキシデコブシ等の観察会
- 周辺の森を守るための整備
- 湿地とその周辺の整備はお任せください！！

Fグループ

- 庭に土岐市の植物を植える
- 土岐の自然の継承
- 生き物が来る
- 現地に行く
- 自然：どのような植物か、現在の状態を確認、保存できる方法を考えたい！！

クロージング

クロージング挨拶（地域資源活用推進室長 山岡）

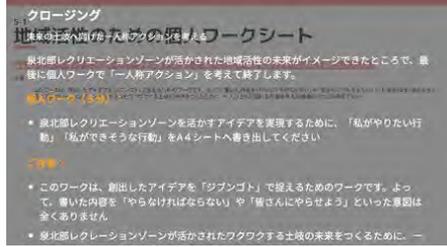
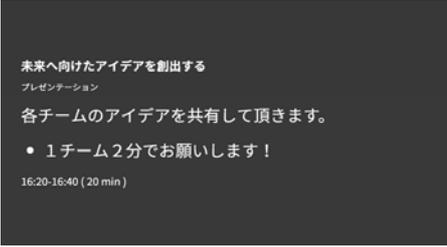
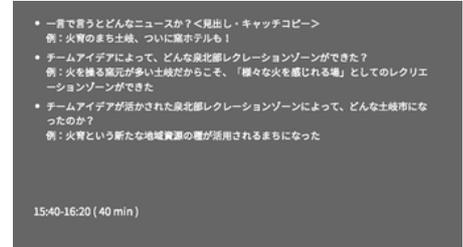
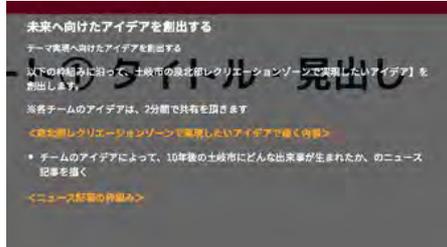
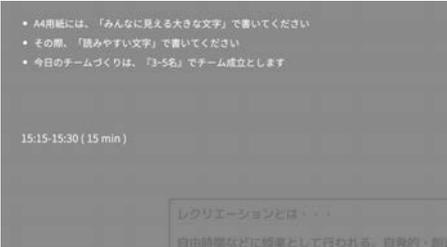
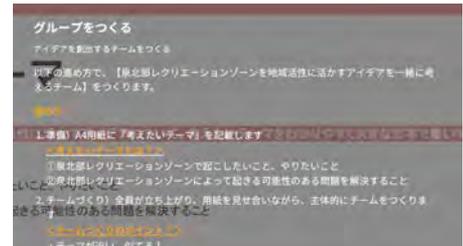
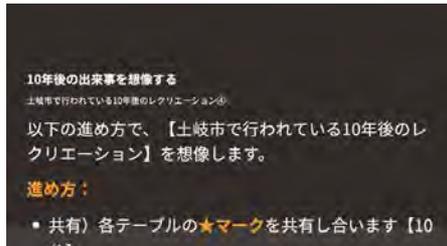
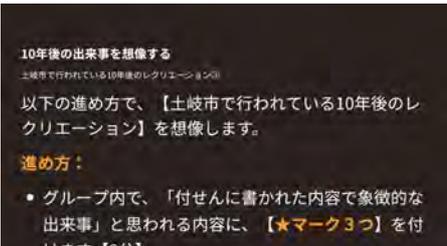
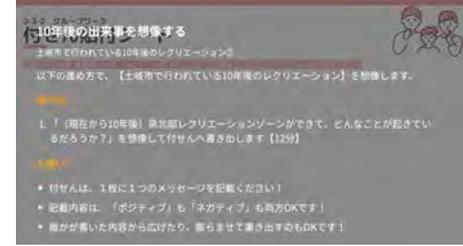
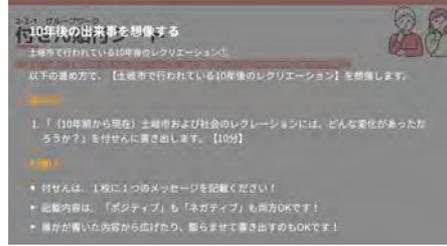
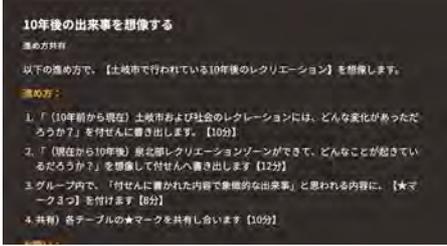
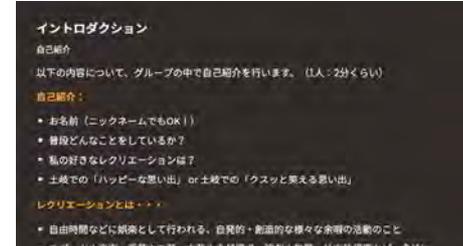
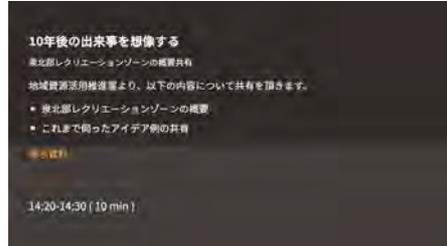
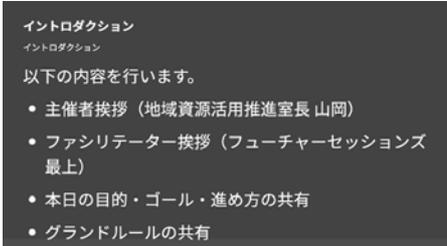
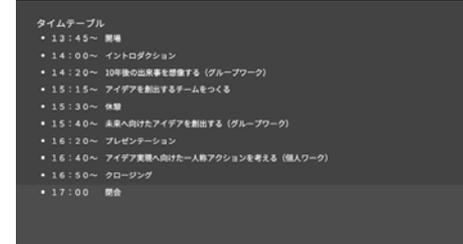
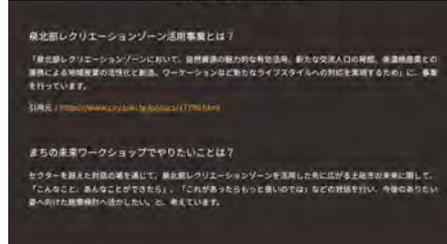


本日は、お忙しいところ、泉北部レクリエーションゾーン まちの未来ワークショップにご参加を頂きありがとうございました。ワークショップを外から拝見していて、とても前向きに話をされていたことが印象的です。アイデアも「土岐市ならでは」と言える面白いアイデアが出てきたと感じています。このアイデアを活かして、未来の土岐市の地域資源となるレクリエーションゾーンを進めていきますので、今後とも宜しくお願い致します。

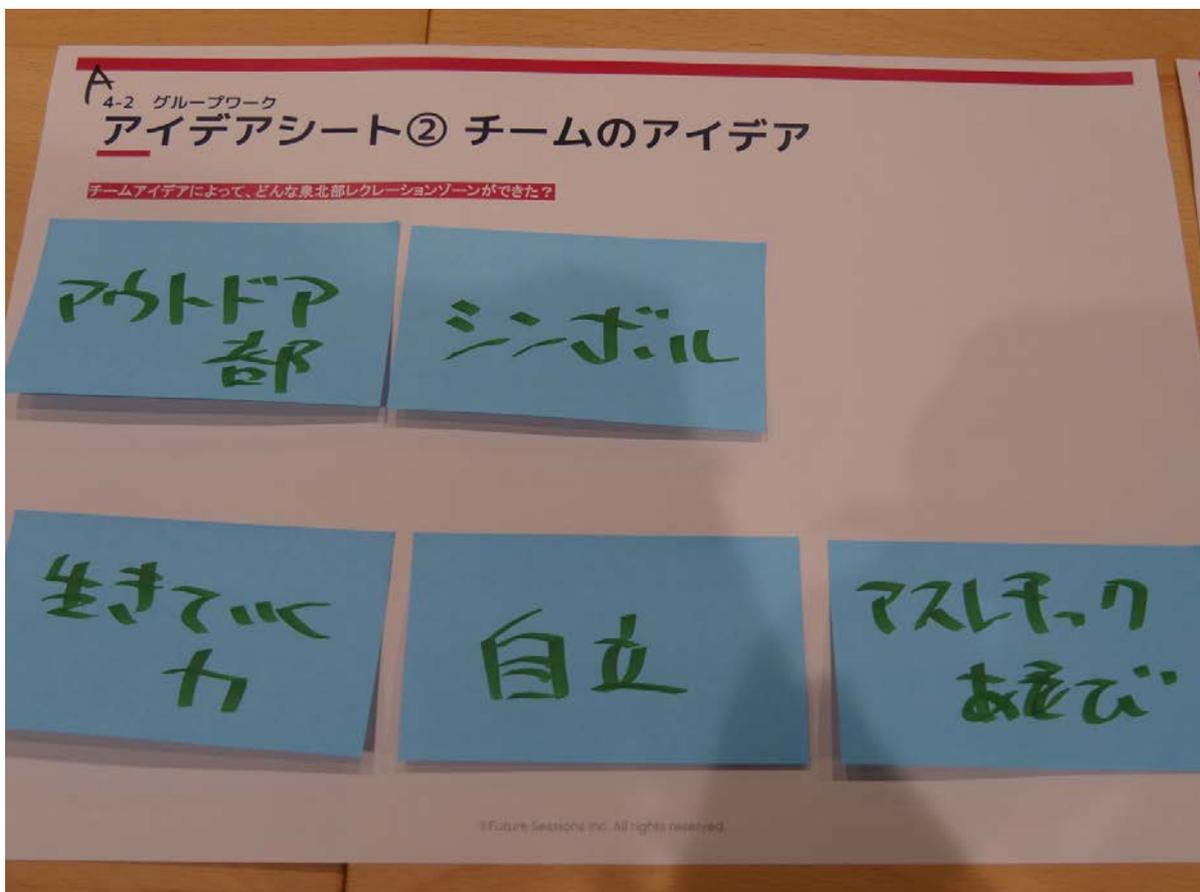
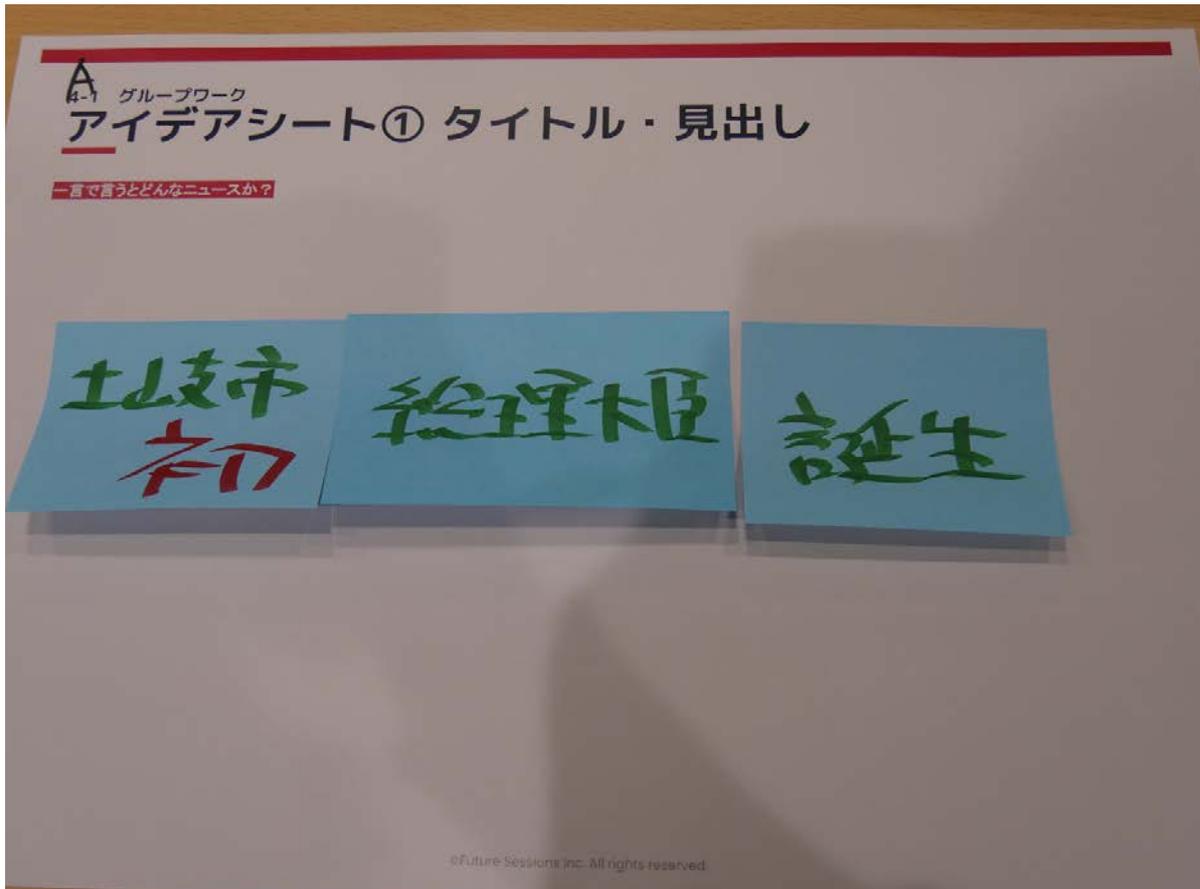
ワークショップ投影資料

泉北部レクリエーションゾーン まちの未来ワークショップURL

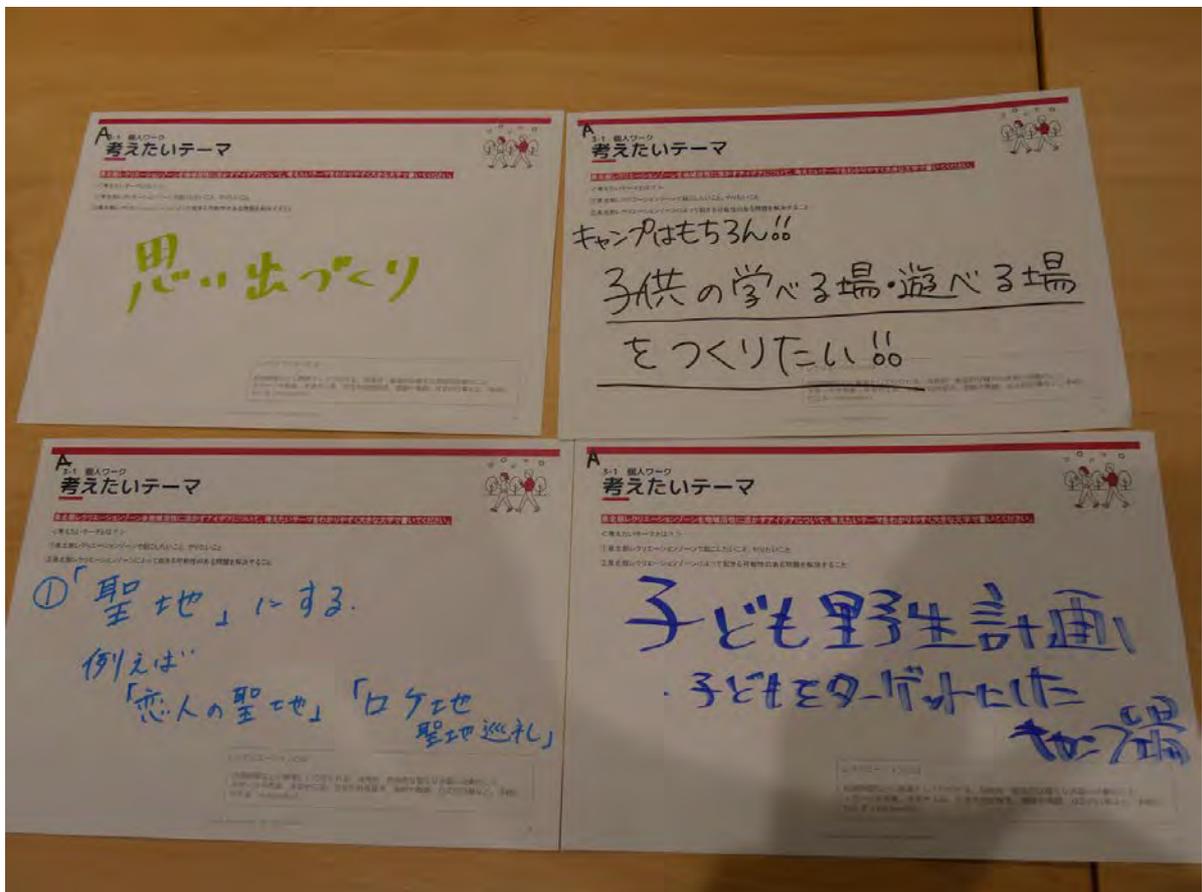
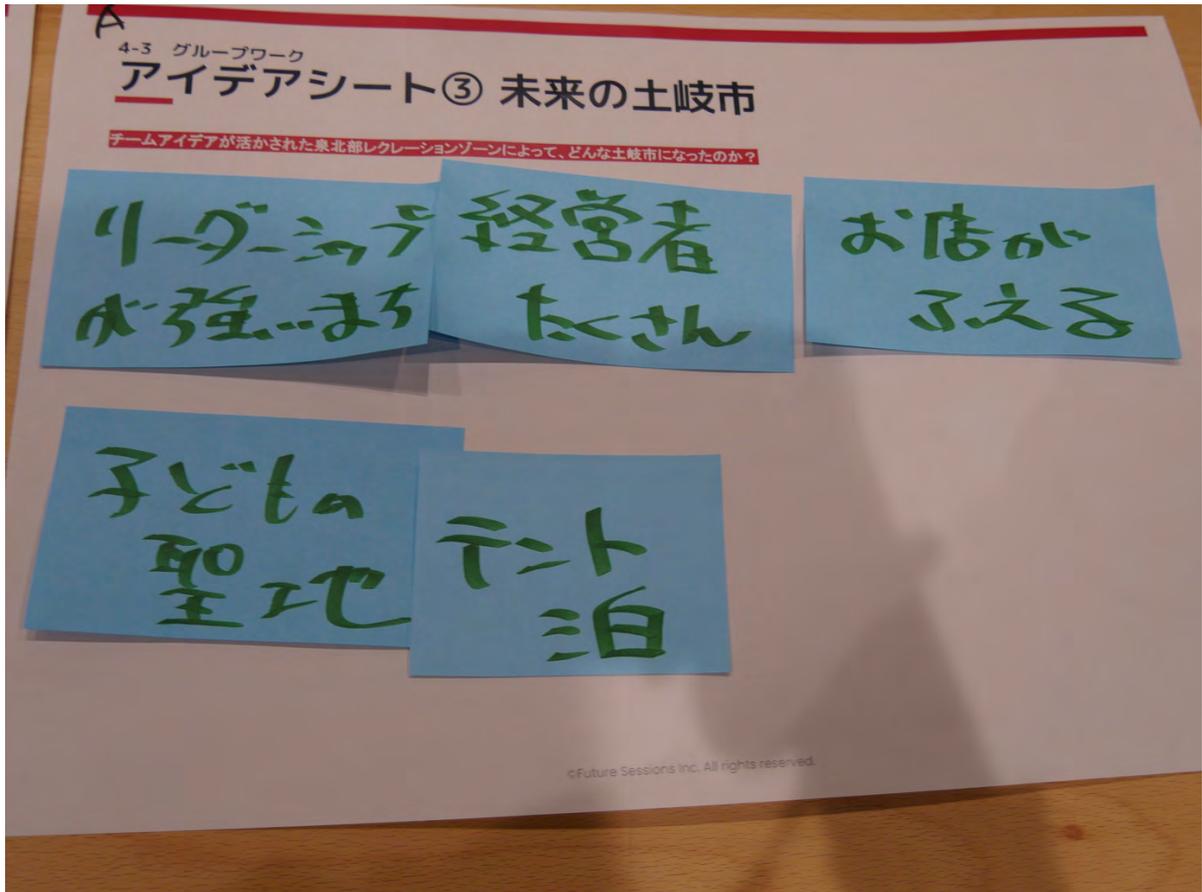
◦ <https://www.ourfutures.net/sessions/4007>



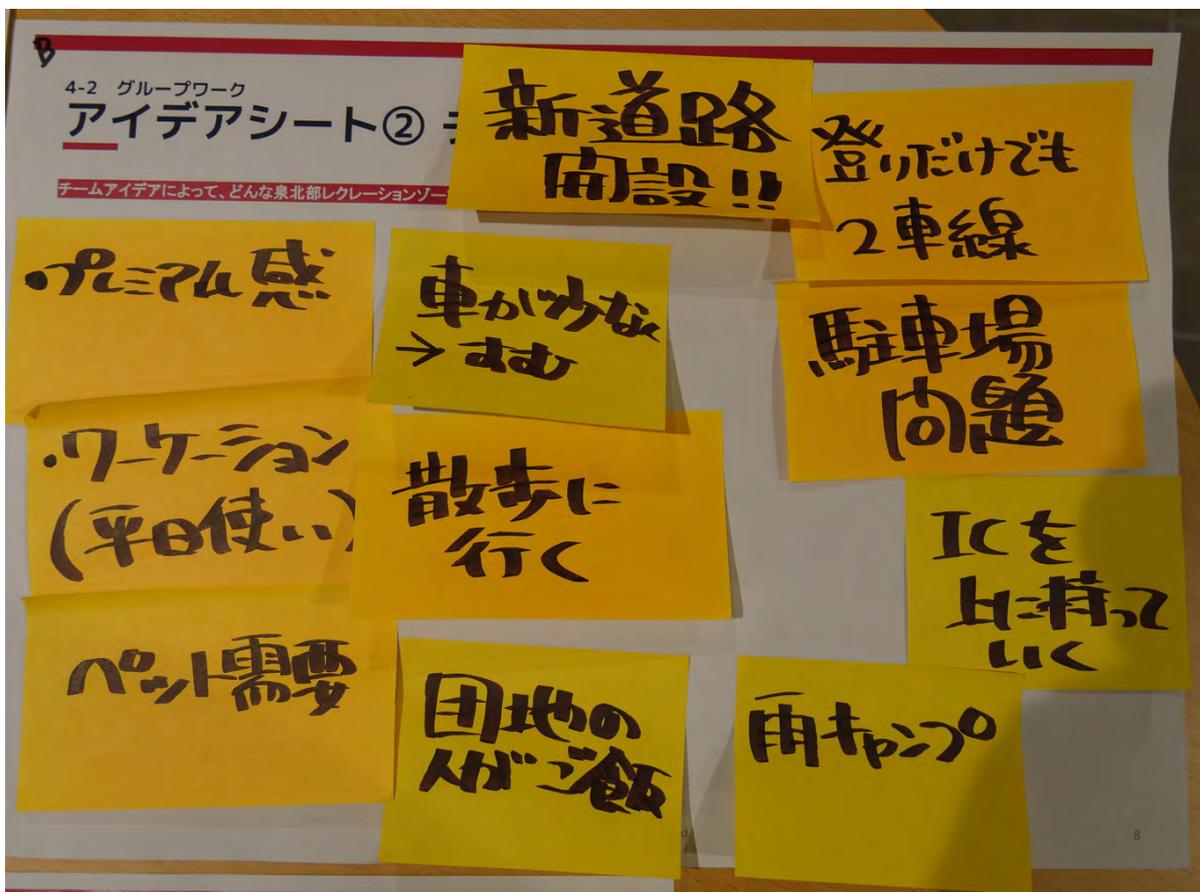
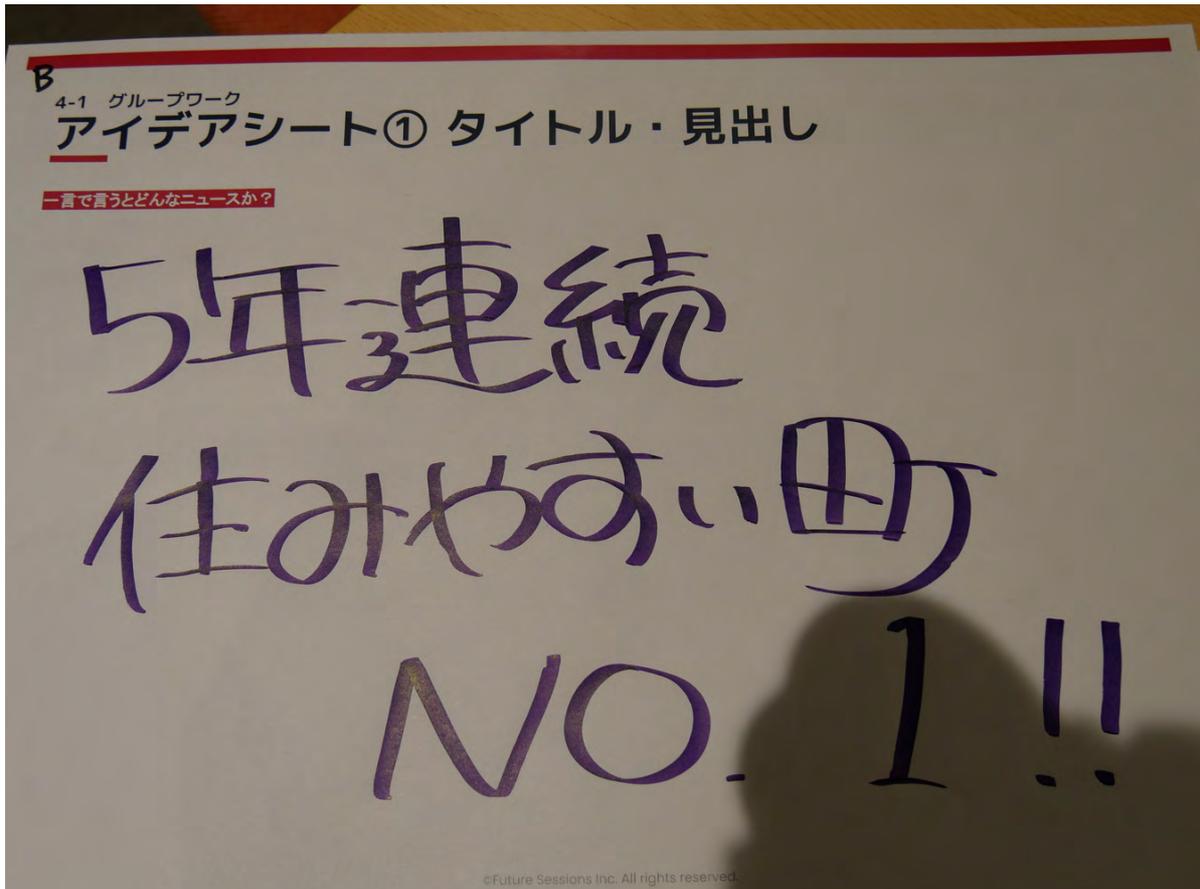
Aグループ資料①



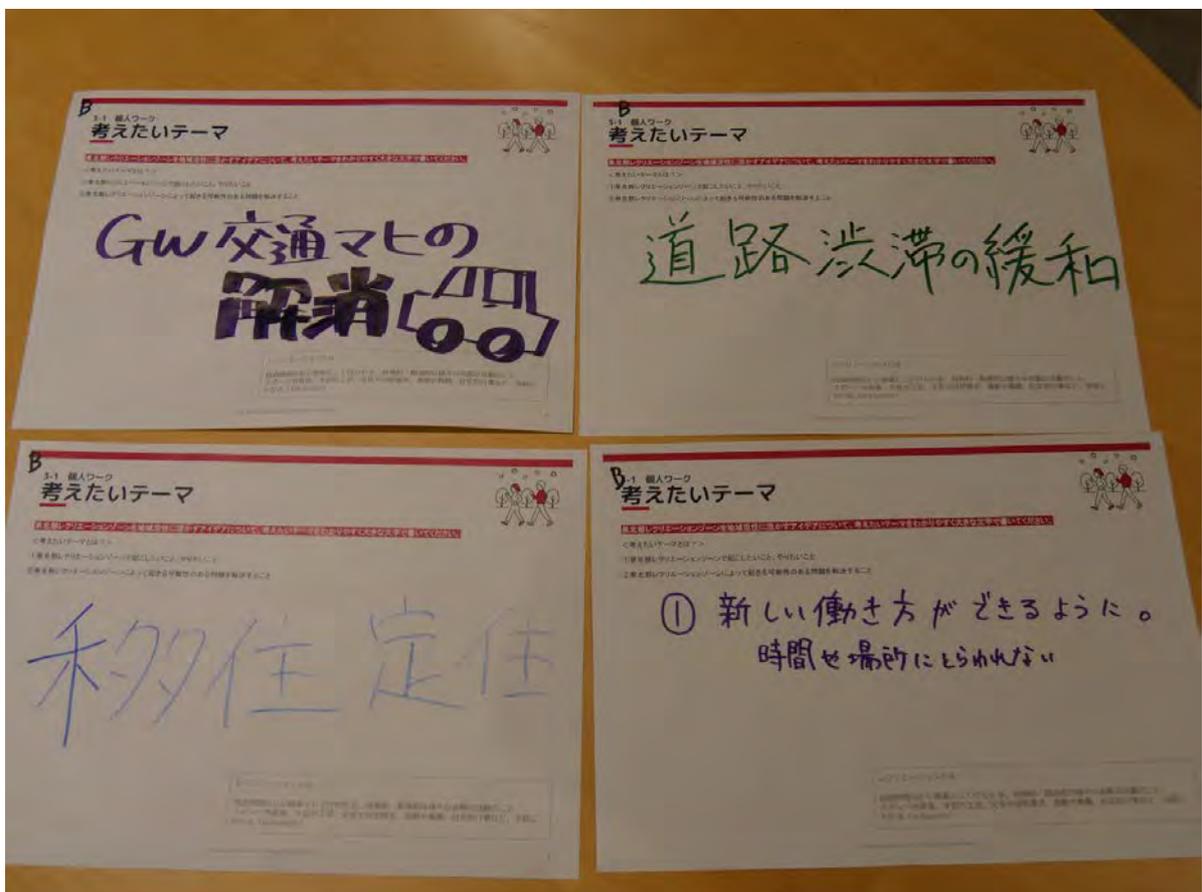
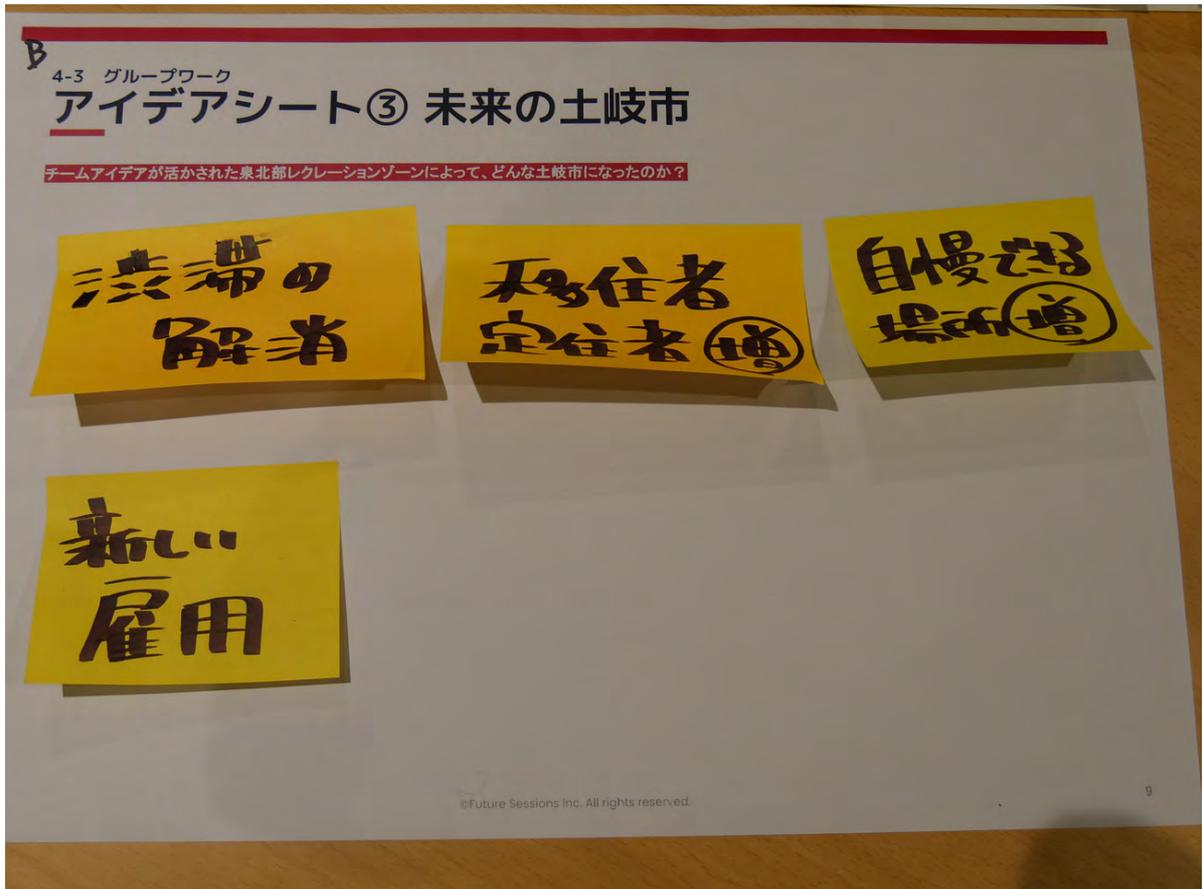
Aグループ資料②



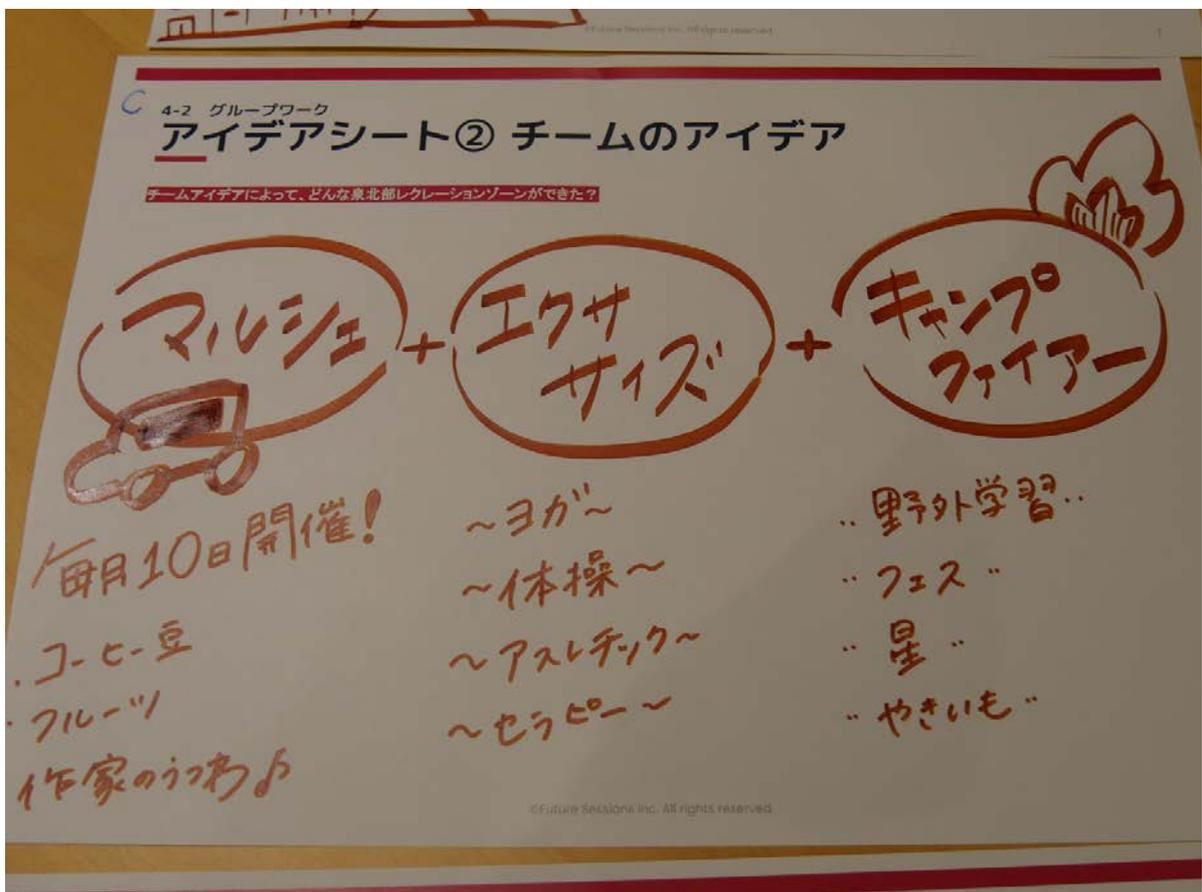
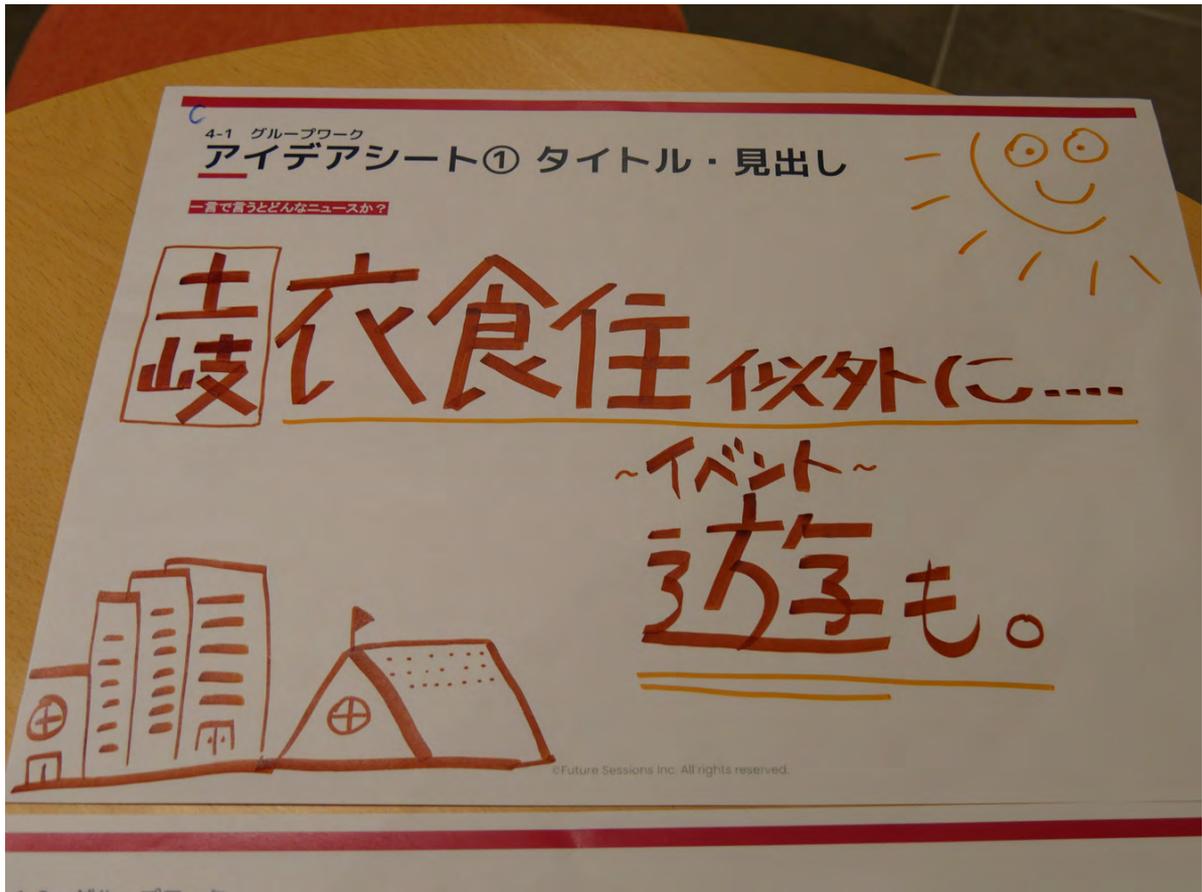
Bグループ資料①



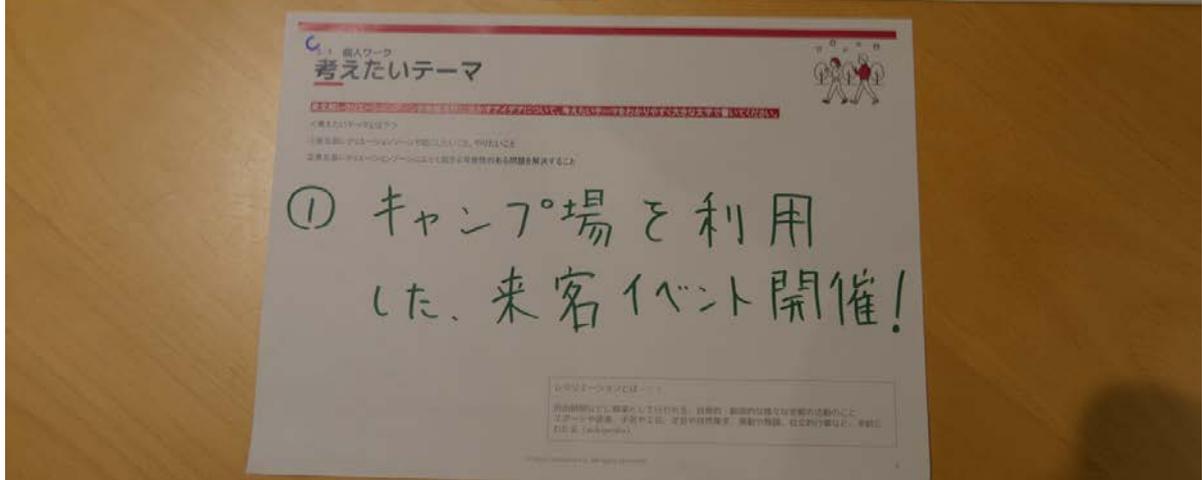
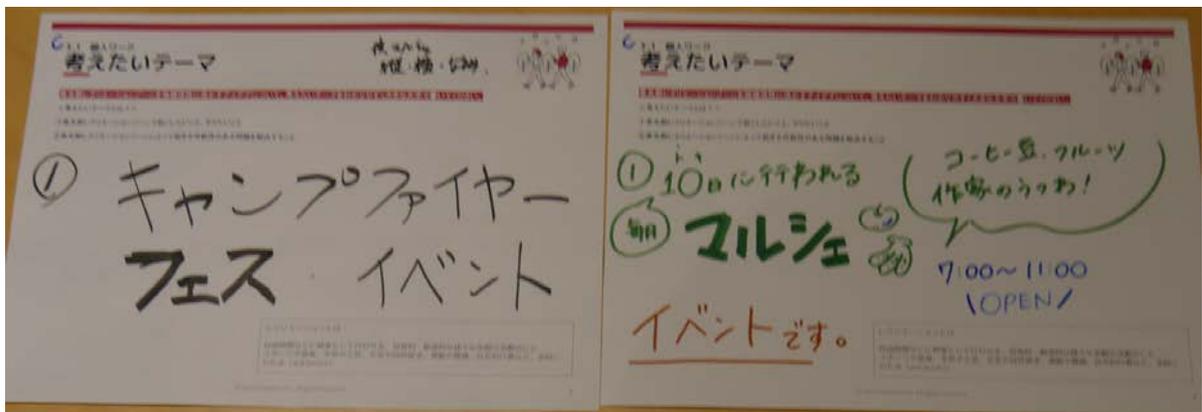
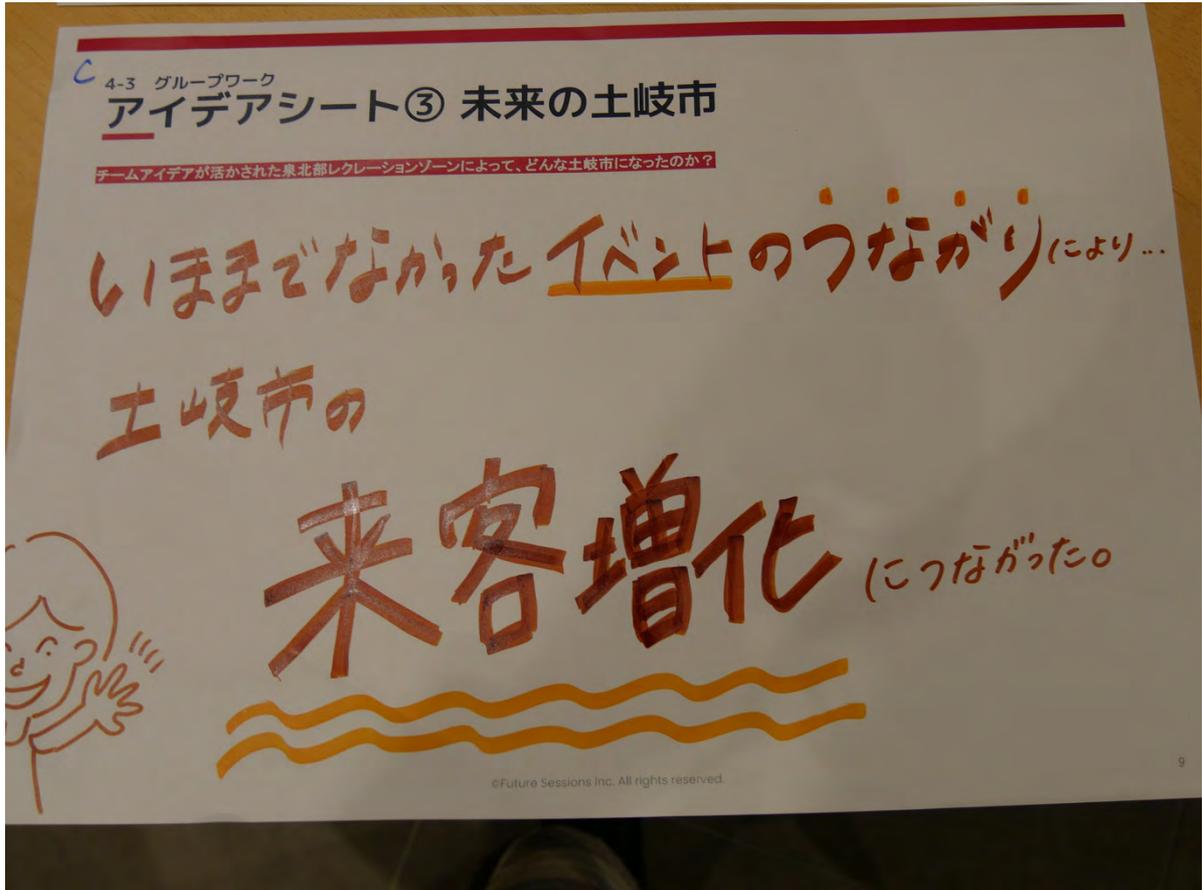
Bグループ資料②



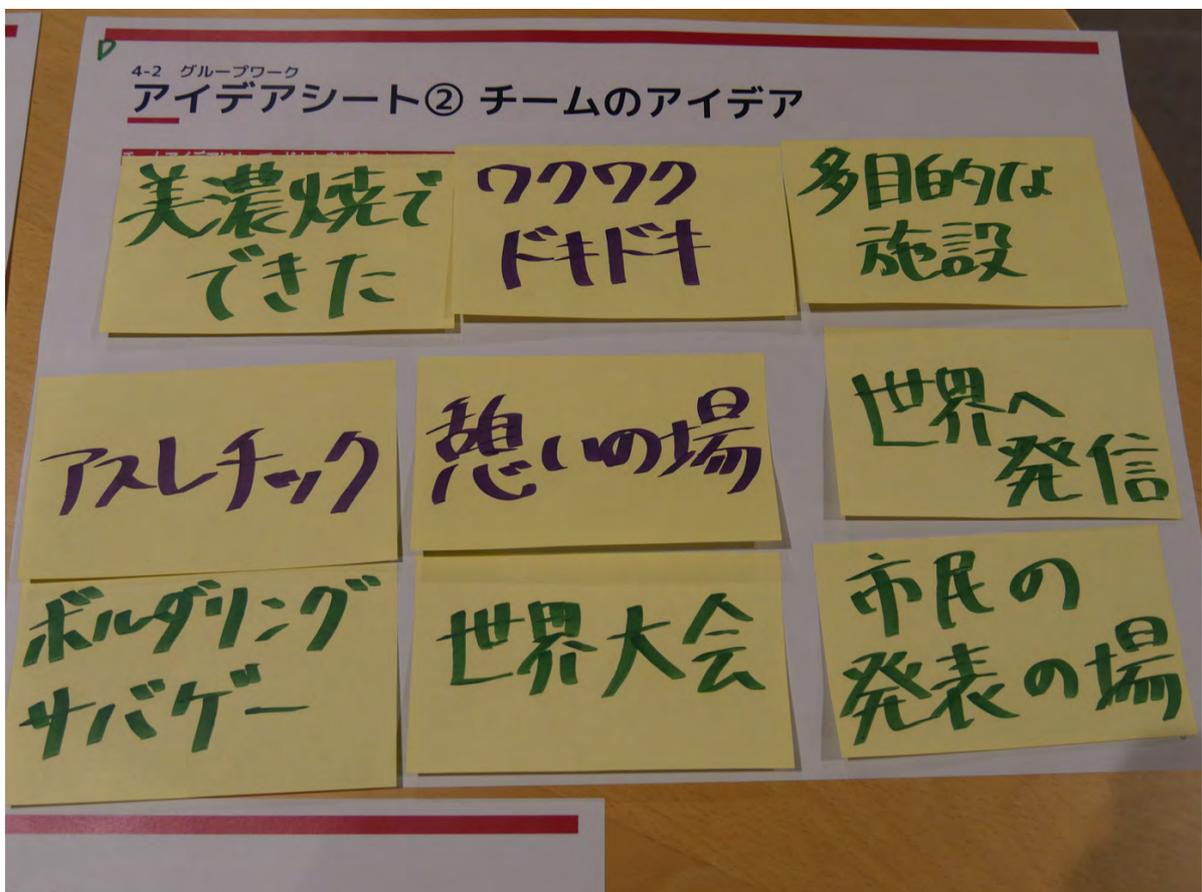
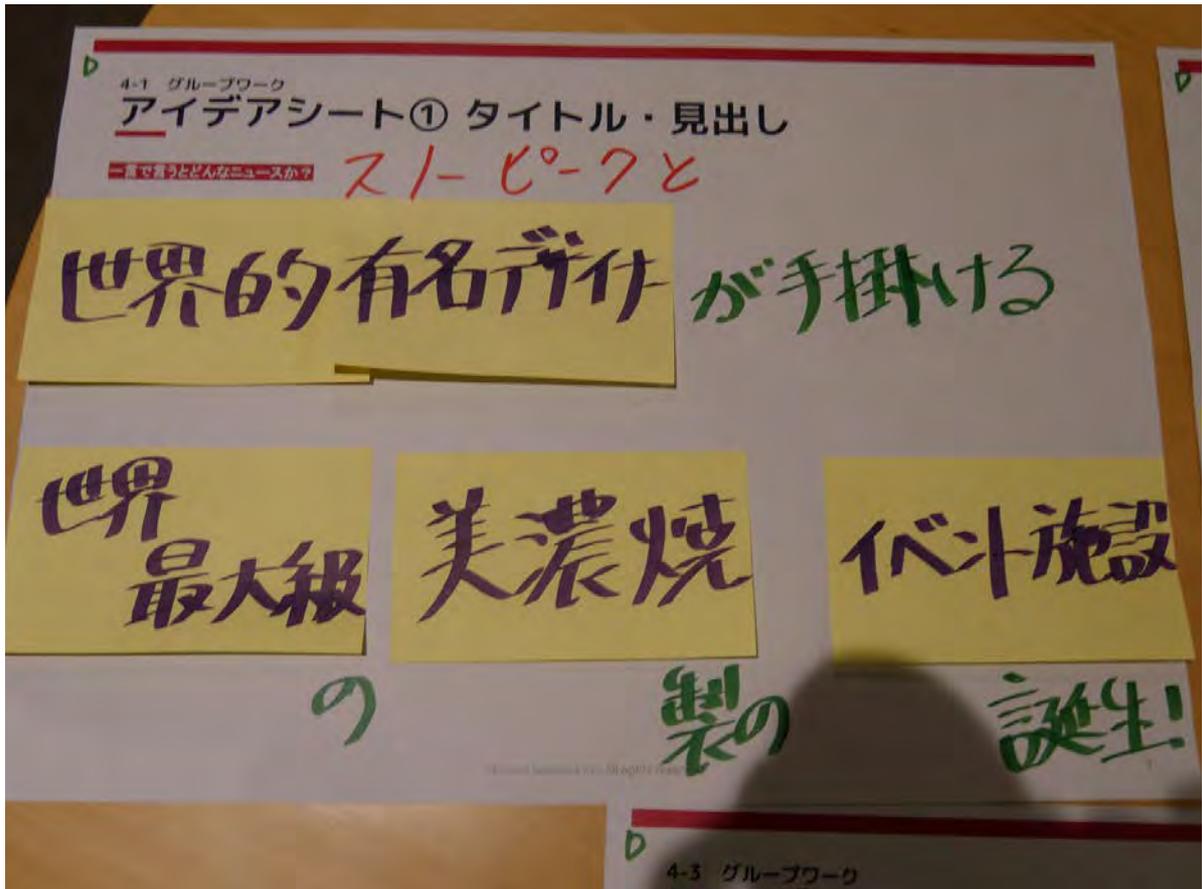
Cグループ資料①



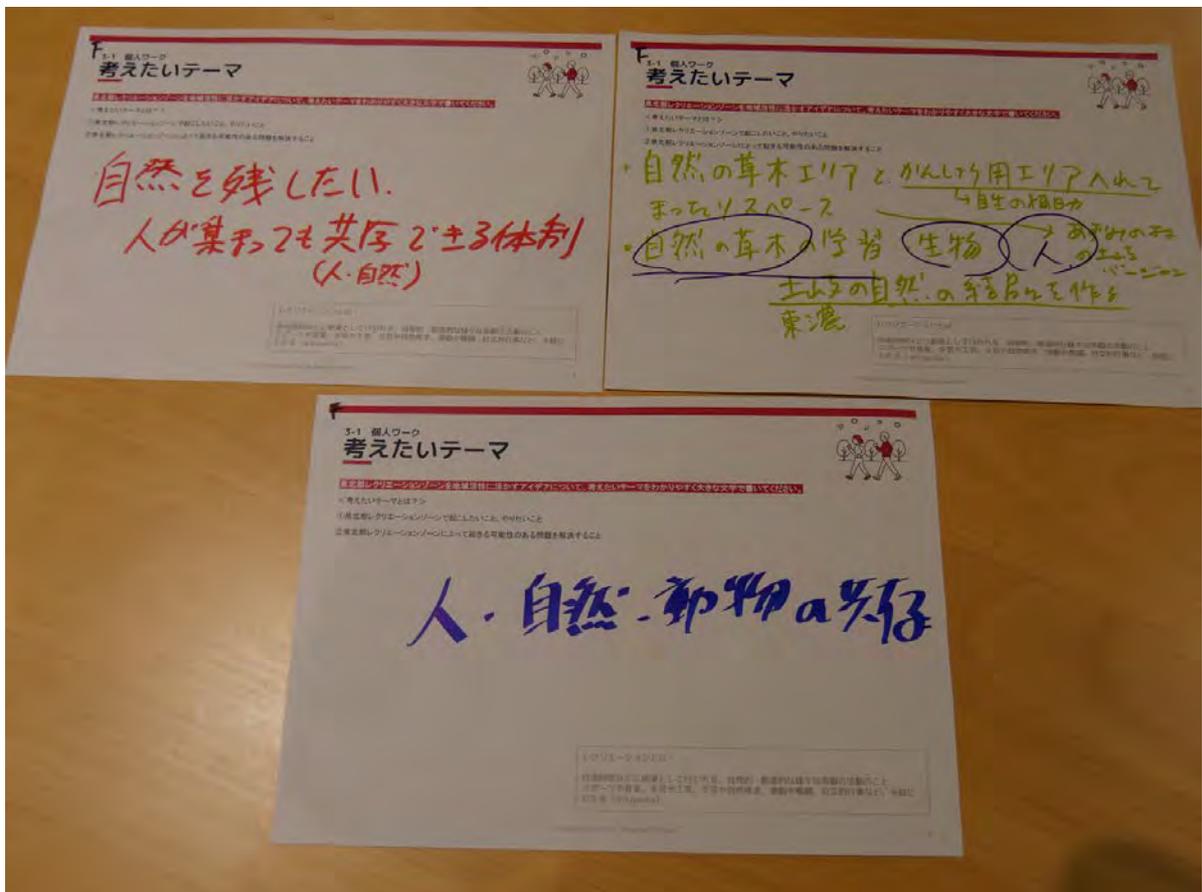
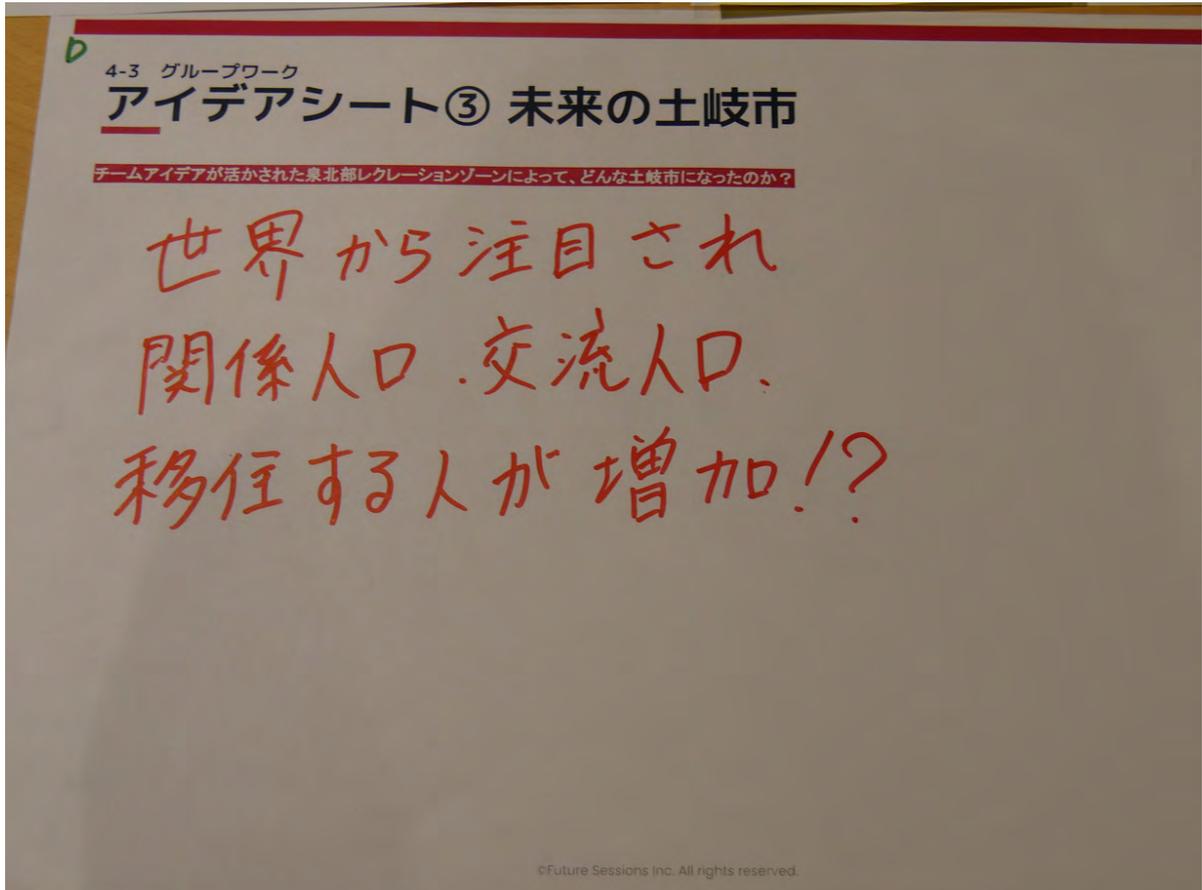
Cグループ資料②



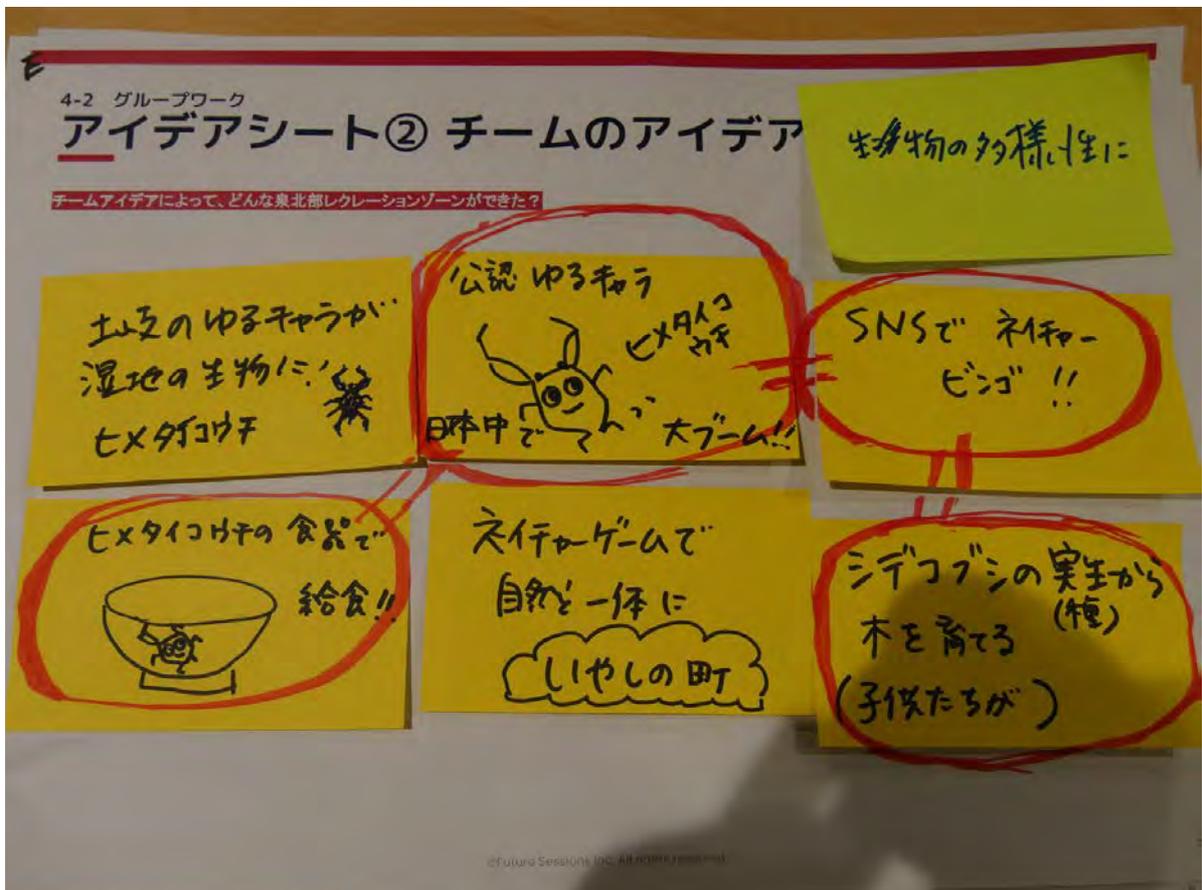
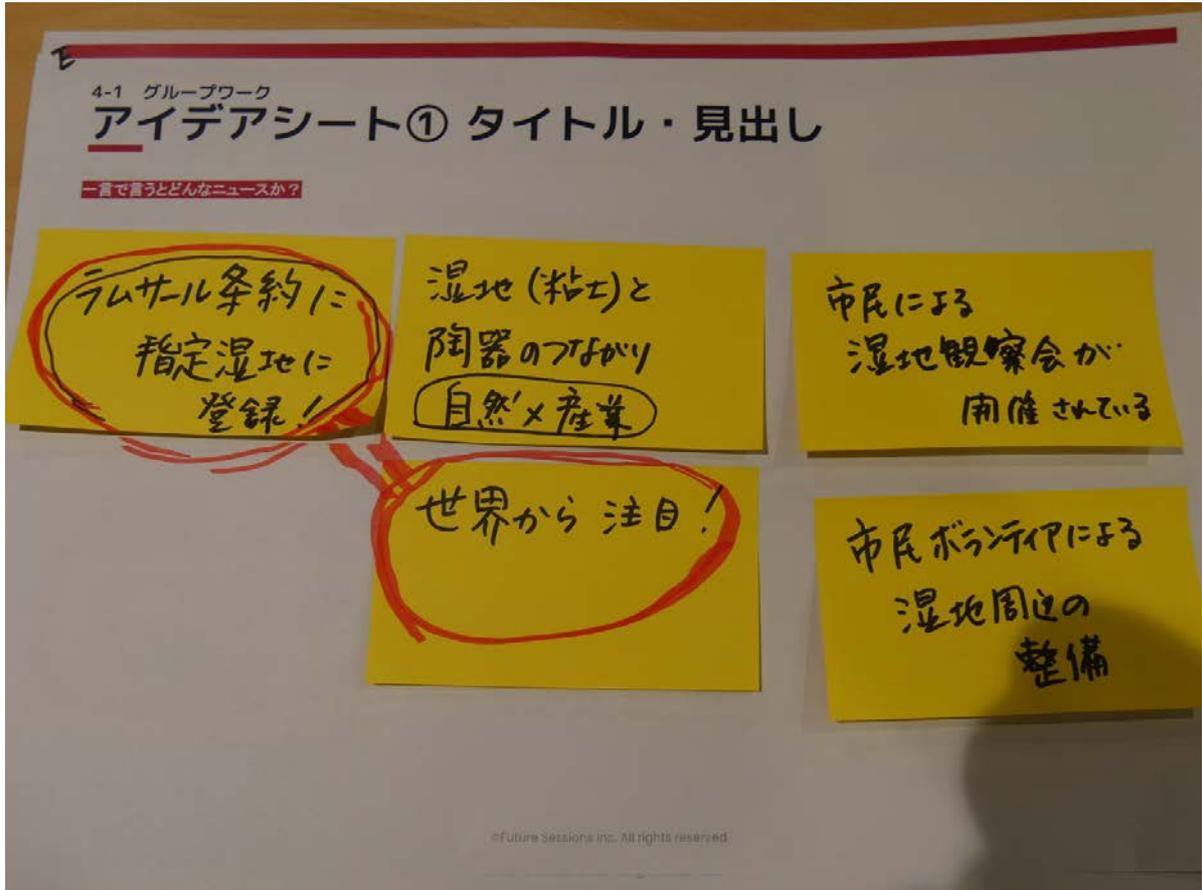
Dグループ資料①



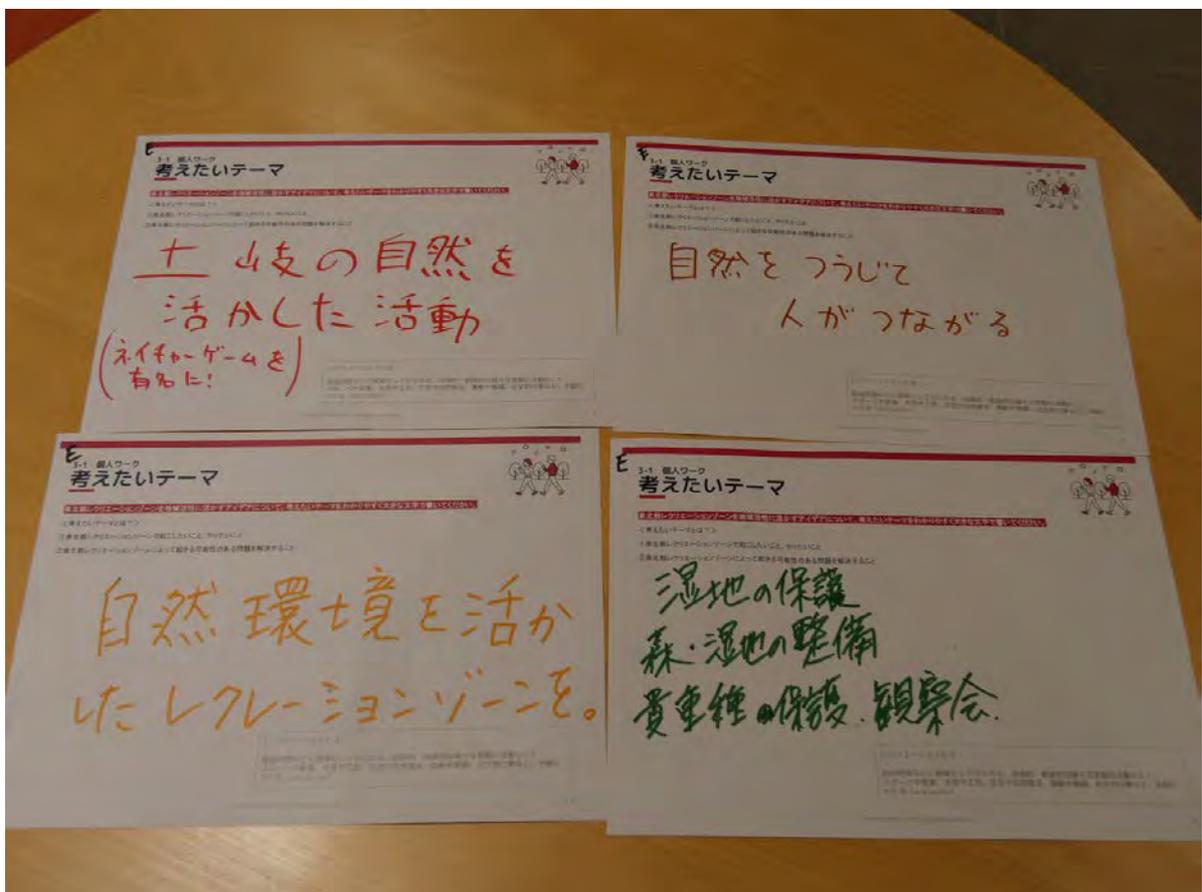
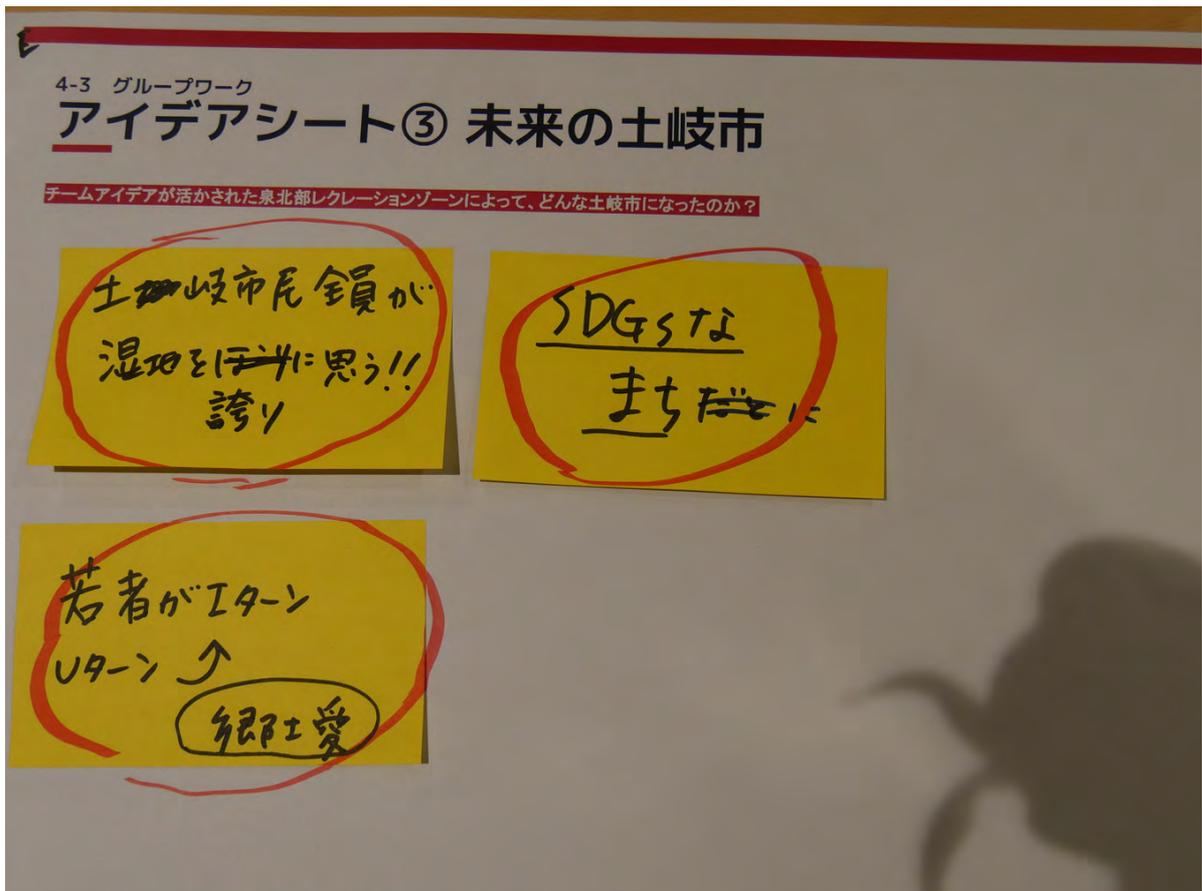
Dグループ資料②



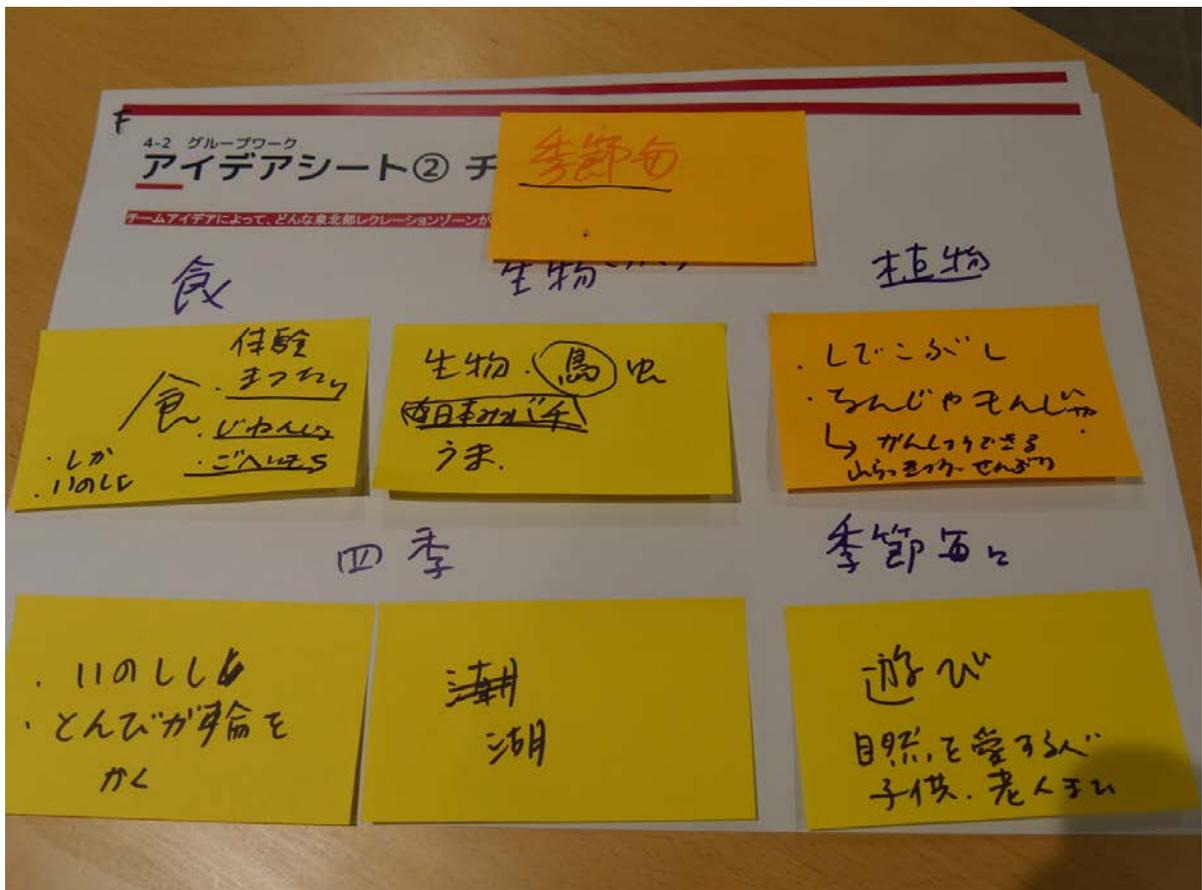
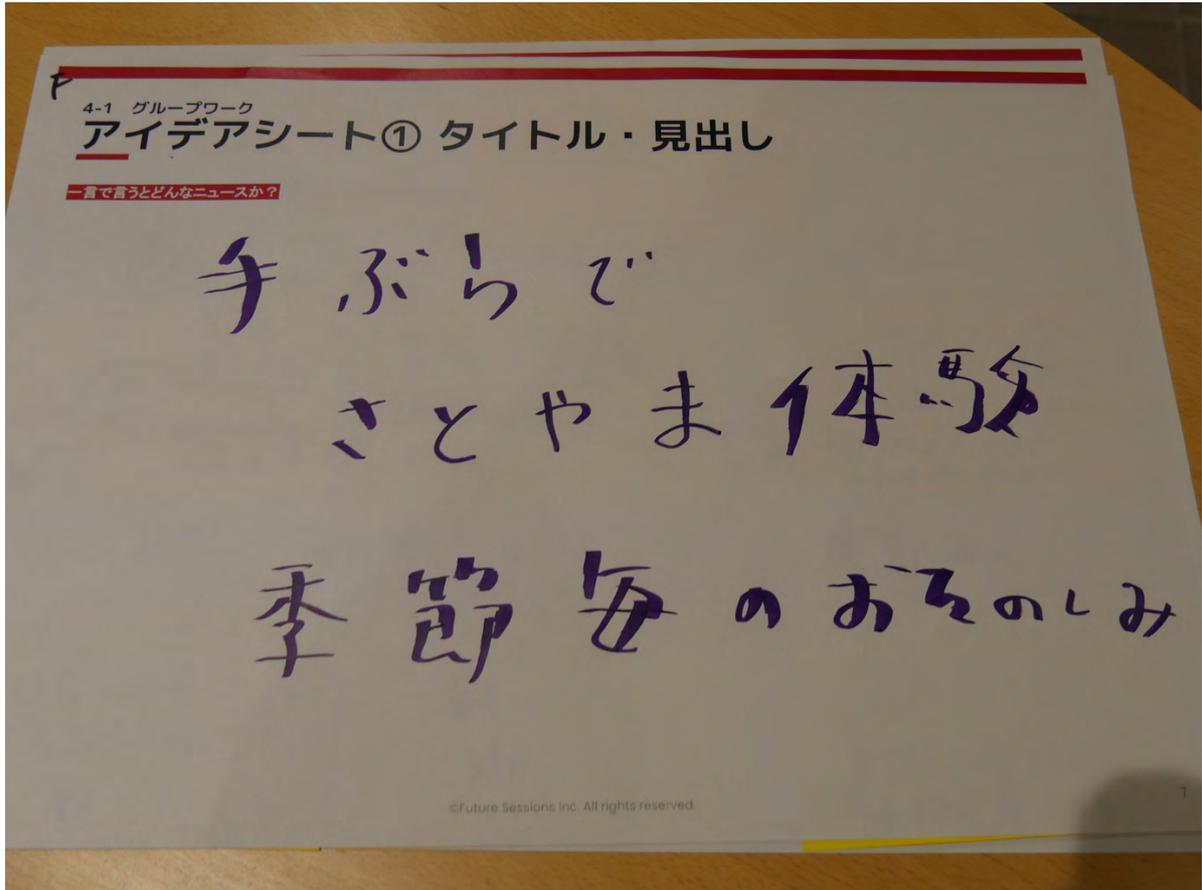
Eグループ資料①



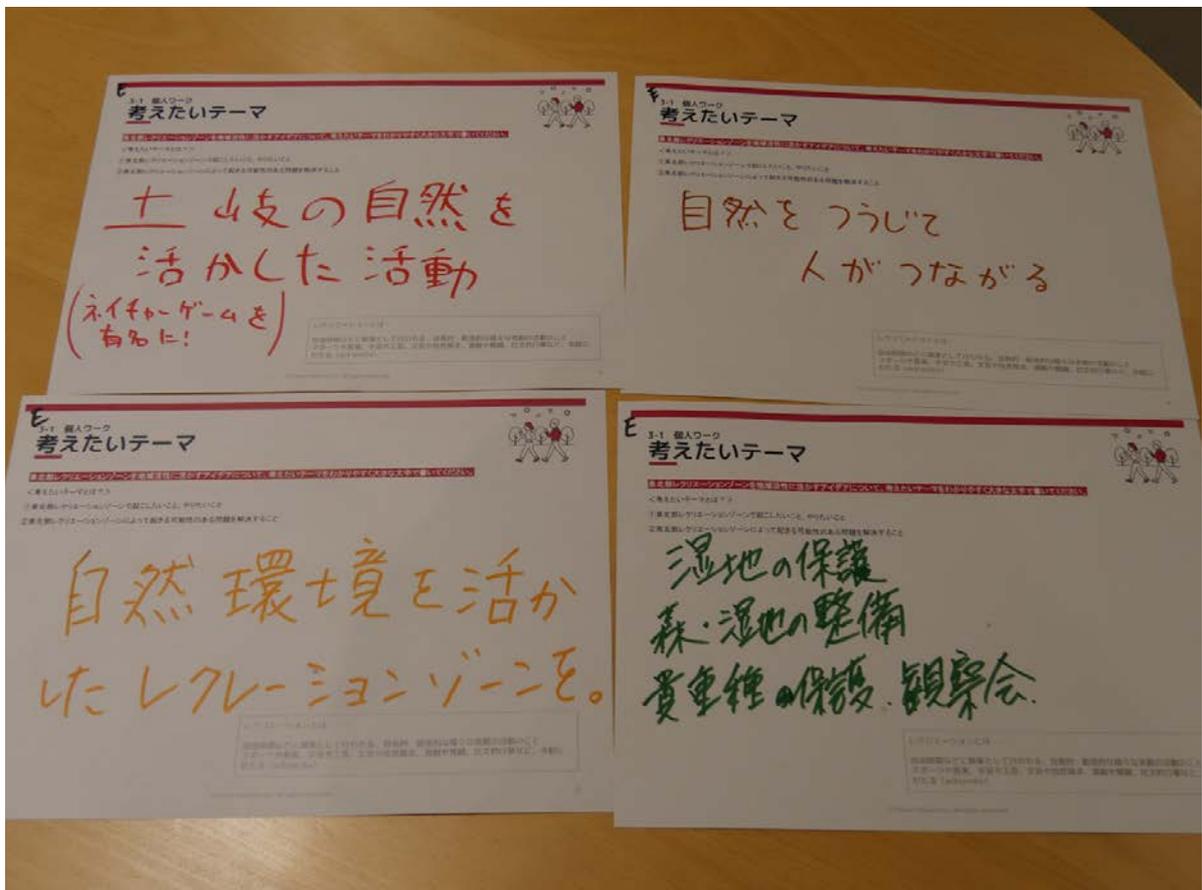
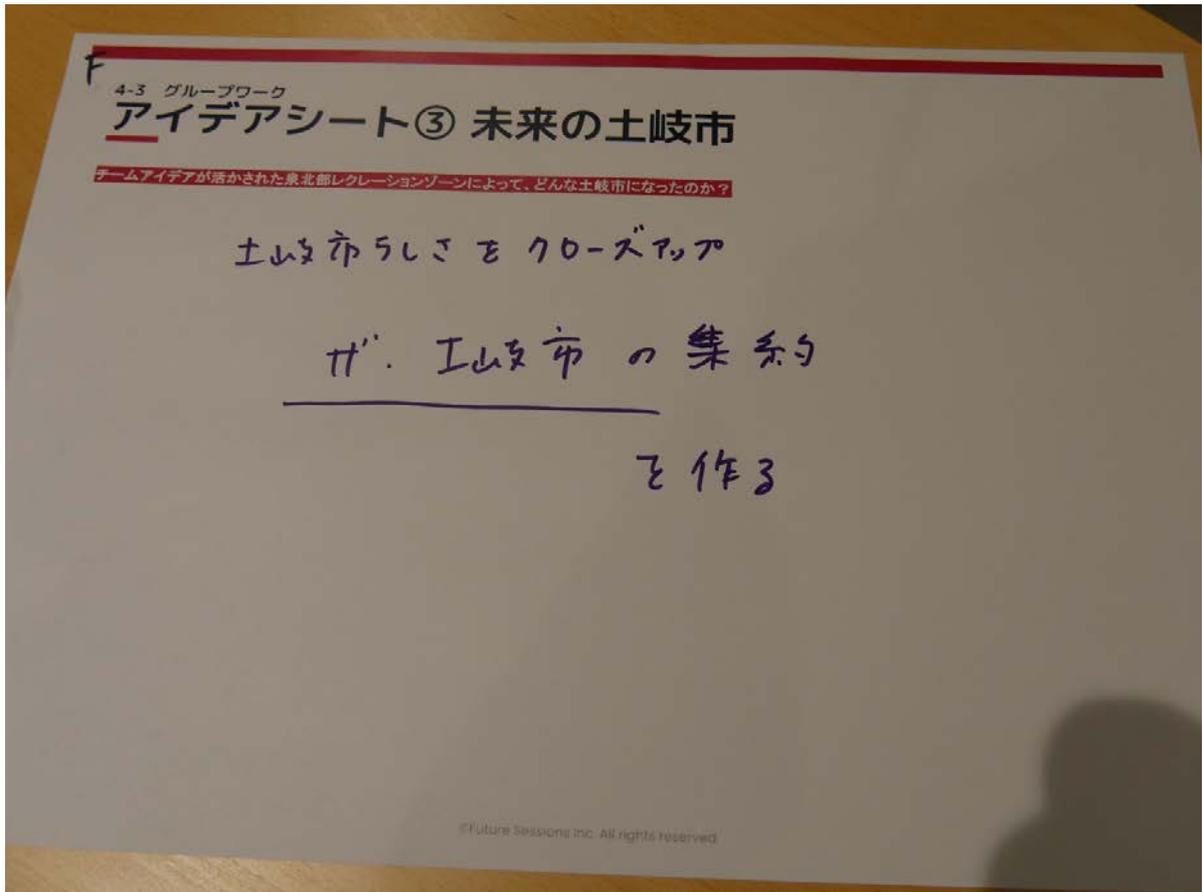
Eグループ資料②



Fグループ資料①



Fグループ資料②



総括 ワークショップの結果、大きく以下の6つのアイデアが創出された。

A：アウトドア部による子育て自然体験

未来の泉北部レクリエーションゾーンでは、自然を活かした遊びやアスレチック、自炊体験など、子どもの聖地となるアウトドア部が活動している。

B：ワーケーション推進&日中散歩

未来の泉北部レクリエーションゾーンでは、wi-fi整備やオンライン会議環境整備によるワーケーション化が図られ、キャンプ利用者だけでなく、一般利用でイヌやネコとの散歩が起きている。

C：マルシェ×エクササイズ×キャンプファイヤー

未来の泉北部レクリエーションゾーンでは、朝マルシェが開催され、様々なお店がテント出店されている。朝マルシェと同時にエクササイズも開催され、夜はキャンプファイヤーが行われている。

D：美濃焼の多目的施設

未来の泉北部レクリエーションゾーンでは、チェーンソーアートやボルダリング、サバイバルゲームなど、多目的にアートや遊びを楽しめる美濃焼で作られた施設ができています。

E：ヒメタイコウチゆるきゃら&シデコブシの育成

未来の泉北部レクリエーションゾーンでは、ヒメタイコウチが土岐市のゆるキャラとなり、子どもがシデコブシの種を植えて、定期的にレクリエーションゾーンでの自然体験を楽しんでいる。

F：手ぶらでさとやま自然体験

未来の泉北部レクリエーションゾーンでは、手ぶらで訪問して、季節毎の食や生き物、植物、遊びなどの、さとやま自然体験が行われています。



2022年

土岐市 泉北部レクリエーションゾーン
まちの未来ワークショップ 実施報告書